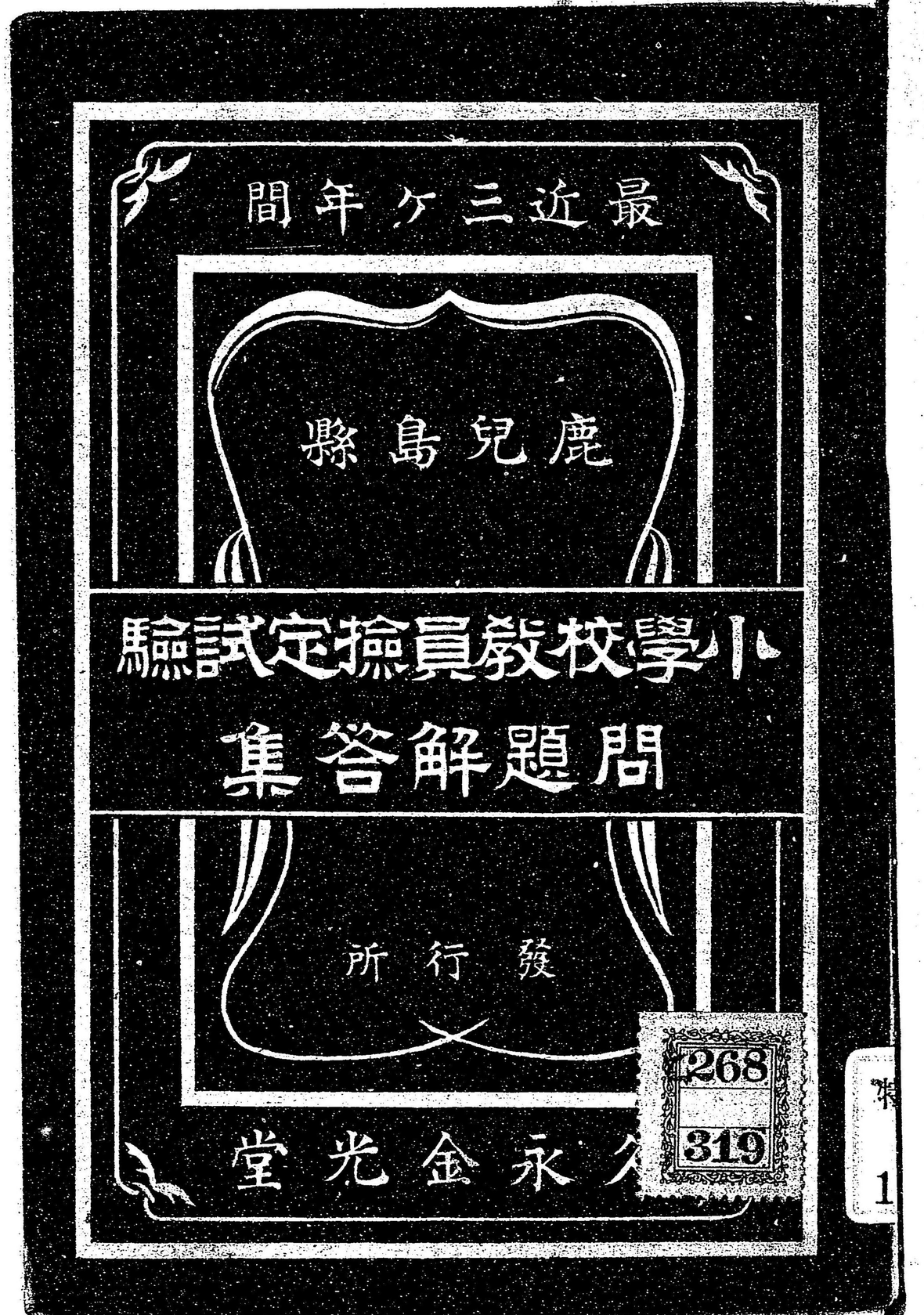


049836-000-7

特26-139

鹿児島県小学校教員検定試験問題解答集

（最近三ヶ年間）

堀　徳次郎／編

M44

BEM-0570

鹿兒島縣小學校教員檢定試驗問題解答集（最近二年間）

問題之部

明治四拾四年五月（第廿一回）施行

修身科

(一)『進んで公益を廣め世務を開き』を解釋すべし。

(二)親族の交際に就きて記せ。

(三)貴人に對する言語

講讀科

(一)言語ハ人ノ感情ヲ動カスコト最モ強ク一言ノ不明ヨリ不測ノ誤解ヲ生ズルコトアリ言ヲ發スルニ先ダチヨク其言ヲ選バザルベカラズ

(三) フク雑。縣チキウ。出キンポ。ユウビン局。植物サイバイ。外國ボーエキ。修ゼン。改チク。ケッセイレウ法。フンレイド力。ボシンキウ書

備考 (一)は意義を附し (二)は漢字に改むべし

教育科

(一)(二) 教式ノ種類ヲ擧ゲテ說明セヨ

尋常小學校第三學年ニ左ノ教材ヲ教授スル教案ヲ示セ(半時間)

(三) 綴リ方ノ教授ニ於ケル板上訂正ニ就キ注意スベキ點ヲアゲヨ

算術科

(一) 次ノ分數ヲ簡單ニセヨ

$$\frac{\left(\frac{5}{8}-\frac{3}{5}\right)\times 3\frac{3}{4}}{2.8}=$$

(二) 或學校ニ於テ二學級生徒ノ總數ハ百五十六人ニシテ甲學級ノ人數ハ乙學級ヨリハ八人少ク丙學級ハ乙學級ヨリハ五人多シトイフ各學級各幾人ナルカ

(三) 四、八瓦ノ狀袋ニ七瓦五分ノ書狀ヲ入レタル手紙アリ全重量幾何ナルカ又切手料金幾何ナルカ

(四) 甲乙丙三人共同シテ或會社ヲ起シ甲ハ一万二千圓、乙ハ一万五千圓、丙ハ一万八千圓ヲ出金シ一ケ年後純益金二千七百圓ヲ得タリ出資高ニ應ジテ配分セバ各ノ所得幾圓宛ナルカ

(五) 或仕事ヲナスニ甲一人ニテハ十二日、乙一人ニテハ十八日ヲ要ス今二人共ニ三日間從事シタル後乙二人ニテ引受クレバ其後幾日ニテ成就スルカ

(六) 元金五百圓ヲ年利七分五厘ニテ二年六ケ月ニテハ元利合計幾何トナルカ

珠算

(1) $37\times 78+425\times 63$

(2) $1453\times 8.6-12097.8$

口號 區ヽノ部

(3) 46326÷73

(4)

(5) 減算

理科

(一)(二)(三)(四) 攝氏及ビ華氏ノ寒暖計ニ於テ目盛ヲ圖解セヨ
合金ニ付テ知ル所ヲ記セ
蚯蚓ノ畧圖ヲ書キ其進動法ヲ記セ
ツヽジノ花ニツイテ記セ

地理科

(一)(二)(三) 本縣各郡役所所在地ヲ列擧セヨ
朝鮮ノ主要ナル産業ヲ問フ
次ノ各項ヲ說明セヨ

阿武隈山脈。經木眞田。諏訪湖。浦賀。バシ海峽。厦門。

歷史科

(一)(二)(三) 大寶ノ律令
德川吉宗ノ事蹟ヲ畧述セヨ
左ニ就テ記セ
平等院。多賀城。竹之內式部。

書方

草木を折り取るべからず
右半紙一枚ニ楷行二體ニ書セ

作文

國語

圖畫科

□問 題 之 部

紙面ヲ四ツニ區分シ其各々ニ左ノ題目ニ付キテ書ケ

(一) 書物　(二) 硯　(三) 筆立　(四) 帽子

但シ鉛筆毛筆何レヲ用フルモ受驗者ノ任意トス

明治四拾三年十月(第廿回)施行

修身科

(一)『世務ヲ開キ』ヲ說明セヨ

(二) 訪問ノ心得ヲ問フ

國語科

講讀

(一) 解釋　但シ傍線ヲ施シタルモノハ、讀方ヲ附記セヨ

イ、赤穗浪士が數年の苦難を忍び遂に主君の仇を報じて從容死に就けるは德川時代に於ける史上の一美談たるのみならず。日本武士の精華を發揮せるものと云ふべし

ロ、翌朝警固の武士ども之を見つけて、何事を如何なるものが書きたるかと、讀みかねて上聞に達したり

ハ、笑ふ門には福來る

(二) 書取　アンラク、キリツ、ニグルマ、モクテキ、トダナ、

作文

受驗準備(口語体)

習字

(一) 三了月日中心代本

右八字ヲ半紙一枚ニ正楷ニ大書セヨ

(二) 峰鈿

右二字構法ノ要點ヲ說明シ應用文字各二ツ擧ゲヨ

教　育　科

(三)(二)(一) 教授ノ目的ヲ問フ
修身科教授ノ要旨ヲ記シコレヲ説明セヨ
左ノ教授案ヲ作レ
尋常小學讀本卷三
ウマイゴチサウモ毎日タベルトシマヒニハイヤニナリマス。オモシロイアソビモ毎日見ルトシマヒニハアキテキマス
備考（一時間　新字毎）

算　術　科

(1) 次ノ分數式ヲ簡單ニセヨ

$$(2\frac{5}{9}+3\frac{5}{6})\div(2-\frac{10}{27})$$

(2) 或數ノ三倍ヨリ二十一ヲ減ジ殘リヲ四ニテ除スレバ商六ヲ得テ殘リ三アリトイフ或數ヲ求メヨ

(3) 東倉ニハ米八百二十五俵西倉ニハ米三百七十五俵アリ今十五俵積ノ車ニテ東倉ノ米ヲ西倉ニ積ミ送ルトキハ幾回ニテ兩倉ノ俵數相等シクナルカ

(4) 或河ノ水量洪水ノタメニ平時ノ水量ノ$\frac{3}{5}$ヲ增シテ二十二尺トナレリトイフ此河ノ平時ノ水量何程ナルカ

(5) 一時間ニ十五秒ヅヽ後レル時計ヲ十月二十日ノ正午ニ正シキ時計ニ合セ置カバ何月何日ノ何時ニ三十分後ルカ

珠　算　科

(1) 3845×496

(2) 631085÷87

(3) 4.544÷0.32

(4) 415×83—4572÷36

(5) 速加算(口唱)

理科

(一)(二) 塩ノ生ズル場合ノ例ヲ擧グテ説明セヨ
「ブンゼン」電池ノ構造ヲ圖解セヨ

博物科

(一) しだ類ノ繁殖法ヲ記セ
(二)(三) いかノ足數ヲ問フ
人體ニ於ケル齒ノ種類及ビ數ヲ問フ

地理科

(一)(二) 日本ノ主要ナル炭田ヲ列擧セヨ
東京ヨリ諸方ニ向ヘル鐵道線ノ方向ヲ示シ名ヲ記セ

(三) 左ノ地名ノ位置及名高キ理由ヲ記セ
1、仁川
2、三池
3、室蘭
4、滿廣
5、城崎

歷史科

(一) 後三條天皇ノ治蹟ヲ略述セヨ
(二) 德川家康ノ文敎奬勵ニ就テ記セ
(三) 左ニ就テ説明セヨ
イ、日本府　ロ、御朱印船
ハ、岩倉具視　ニ、日新公

自在畫科

口問題之部

口問題之部

(一) 左ノ書題ニツキ記憶ニヨリテ書ケ

(イ) 楓ノ葉　(ロ) 本ノ表紙

(ハ) 蝶　(ニ) 國旗　(ホ) 船

(ヘ) 橋

鉛筆、毛筆任意

体操科

普通体操

(一) 各個演習中左ノ運動ヲ行フ

1、頭ノ後屈
2、臂ノ側伸及上伸
3、手ヲ腰上体後屈
4、手ヲ腰擧踵屈膝
5、手ヲ頸上体前屈
6、手ヲ頸、上体左右轉向
7、其場跳躍

兵式教練（女子ニハ行ハズ）

(一) 各個教練中左ノ運動ヲ行フ

1、不動ノ姿勢
2、行進及行進中ノ右向左向、後向キ
3、斜行進

裁縫科

(一) 單衣ノ解キ方順序ヲ説明セヨ

(二) 本物本裁袷ノ標付方ヲ圖解セヨ

(三) 中幅片面物ニテ三ツ身ノ裁方ハ如何ニスベキカ
但シ寸法ヲ記入シ總用布ヲ算出スベシ

口問題之部

實地

(一) 與フル所ノ布ヲ以テ單衣右袖ノ丸ミヲ作レ袖口ハ普通ノ袖ノ丸ミハ五分トス其他ハ實物ノ二分ノ一ニスベシ

明治四十三年五月(第十九回)施行

修身科

(一) 勇氣ト耐忍

(二) 惟信惟義トハ如何ナルコトカ

(三) 多人數集合ノ場合ニ於ケル心得

教育科

國語科

講讀

(一) 次ノ教授案ヲ作レ

カゼニクルクル カザグルマ(尋常小學讀本卷二)

(二) 算術科教授ノ要旨

講讀

(一) 解釋

(イ) 國家の隆盛と、人民の幸福とを增進せん事を望む

(ロ) わが國の米は品質ことに優等なればひろく世の人の嗜好に適す

(ハ) ナポレオンの運命はこの意外なる敗亡によりて全く一轉し諸外國は、さらに聯合してフランスにせまれり

(二) 讀方

印刷。宣告。知己。準備。手加減。

(三) 書取

テンキ。ギンキ。ザイサン。ケンリ。ドクリツ。

作文

初夏

習字

(一) 守分安命

右半紙一枚ニ楷行二體ニ書セ

(二) ワカベサヌス

右半紙一枚ニ片假名平假名二体ニ書セ

算術科

(1) (イ) $\dfrac{4\frac{1}{4}\times 3\frac{1}{8}\times 1\frac{3}{5}}{4\frac{1}{4}-2\frac{1}{8}}$　　(ロ) 54. 7369÷8.34

(2) 甲乙相距ル32里甲ハ一日ニ12里宛乙ハ一日ニ8里宛行ク甲ガ乙ヲ追ヒ行クトキハ甲ガ乙ニ追ヒツクニ幾日ヲ要スルカ

(3) 或人所持ノ田地ヲ三人ノ男子ニ配分シ三男ニハ12町5段歩次男ニハ全体ノ$\frac{3}{8}$又長男ニハ全体ノ半分ヲ與ヘタリト云フ長男ノ貰ヒシ反別幾何ナルカ

(4) 米價一石ニ付十二圓五十錢ナリシガ其後一石ニ付50錢騰貴セリト云フ幾割方騰貴セシカ

(5) 或女ガ毎日十時間宛働キテ六日間ニ織リ上クル織物ヲ五日間ニ織リ上グルニハ毎日幾時間ヅヽ働カザルベカラザルカ

(6) 一升六十錢ノ酒ト一升五十錢ノ酒トヲ或割合ニ混合シテ一升五十四錢ノ酒二斗ヲ作ルニハ原ノ酒各幾何ヲ要スルカ

珠算

(1) 口唱(速加算)

(イ) 315, 263, 453, 604, 768, 876, 103, 555, 719,

口訳 區之部

(ヮ) 395錢, 400錢, 292錢, 527錢, 289錢, 521錢, 876錢, 234錢,

(2) 471×36
3105×728

(3) 59996÷32—8544÷89

(4) 639×27÷78

理科

(一) 電信機ノ構造及ビ作用ヲ圖解セヨ

(二) 銅ノ性質及ビ用途ヲ記述セヨ

博物科

(一) 種子ノ構造ヲ圖解セヨ

(二) たたまじやくしニツキテ知レル處ヲ記セ

(三) 五官器ヲ列擧セヨ

地理科

(一) 日本ニ於テ夏ハ南風多ク冬ハ北風多キハ何故ナルカ

(二) 我國ノ要塞地ヲ列擧セヨ

(三) 左ノ名詞ヲ簡單ニ說明セヨ

釜石、潮岬、鎭海灣、營口、小豆島

歷史科

(一) 大化新政ノ大要ヲ述ベヨ

(二) 日淸戰爭ノ原因ヲ記セ

(三) 左ノ人々ニ就テ知レル所ヲ記セ

林信篤、弓月王、太安麿、ハルリス、行基

自在畫

口問 區之部

(一) 蝶ノ圖 臨書

右鉛筆、毛筆何レヲ用フルモ任意トス

体操

(一) 各個演習(教程ハ任意之ヲ授クルモノトス)

(二) 徒手第一演習

(三) 啞鈴第一演習

(四) 各個教練(動作ハ任意之ヲ授クモノトス)

明治四十二年十月(第十八回)施行

修身科

(一) 忠良ノ臣民トハ如何

(二) 市町村ニ對スル心得

(三) 自己ノ生命ニ對スル心得

教育科

(一) 問答法ヲ述ベヨ

(二) 國語教授ノ要點ヲ問フ

(三) 尋常科第二學年ニ四ノ掛算九々ヲ授クル一時間分ノ教案ヲ作レ

國語科

講讀

(一) 解釋

(イ) 一旦緩急あれば一命を鴻毛の輕きに比す

(ロ) 名も高き鍛工つぎ〳〵に出で、燒太刀の技巧世界に比なし

(二) 左ノ文ヲ口語文ニ改メヨ

口問題之部

眞友ハ爾ノ心ト交ルモノニシテ爾ノ形ニ交ルニアラズ心ハ神物ナリ財貨權力ハ形物ナリ爾ノ心ハ爾ト一生俱ニアリ爾ノ財貨權力ハ虛浮ノ物ナリ時ニ來リ時ニ去リ或ハアリ或ハナシ

(三) 音ト訓トノ別ヲ記セ

注意 答稿ノ文字ヲ書取ト見做シテ採点スベケレバ其ノ心得ニテ書クベシ

作文

讀書

習字

(一) 中車月光

右判紙一枚ニ楷行ニ體ニ大書スベシ

(二) 泉水ノ湧キ出ツル琴尺八風琴ノ曲トモ聞クベク落葉ヲ潛ル細流ノ響ハ琵琶月琴ノ調ニモ似タリ 右横紙前半數ニ假名ヲ平假名ニ漢字ヲ行体ニ改メ細書スベシ

(三) 承必昔出

右四字ト筆ノ順序ヲ横紙後半枚ニ明記セヨ

算術科

(1) 鶴龜合セテ百頭其足數三百七十本ナル時ハ各ノ頭數如何

(2) 七千八百十二平方尺七十二平方尺三十七間平方四千六百四十五坪合セテ幾坪ナルカ

(3) 次ノ分數ヲ簡單ニセヨ

(イ) $\dfrac{(5\frac{1}{5}\times 3\frac{1}{8})\div 2\frac{3}{5}}{3\frac{1}{3}+5\frac{1}{5}+2\frac{3}{5}}$ (ロ) $\dfrac{2}{6+\frac{1}{9}}$

(4) 或人所持金ノ三分ノ一ト五分ノ二トヲ費シタル跡ニ尚ホ百拾圓殘リ居レリト云フ此人最初幾何金ヲ所持セシカ

珠算

(1) (イ) 538+429

(ロ) 25.2×66

(ハ) 199.6間＋7間

(2) 速算(口唱)

15圓67錢, 4圓30錢, 22錢, 24圓93錢, 19圓99錢, 37錢, 1圓39錢, 合計ヲ求ム

理科

(一) 音色ノ理ヲ説明セヨ

(二) 酸、アルカリ及鹽ヲ各二ツ宛擧ゲヨ

(三) どんぱハ如何ナル食物ヲトルカ又何故ニ水浴ヲナスカ

(四) 禾本科牛齒類ノ例各五ツ宛擧ゲヨ

地理科

(一) 地球ノ圓キコトハ如何ニシテ知ルカ

(二) 下關ヨリ京都ヲ經テ靑森ニ至ル鐵道線路各及其線路ニ沿エル地方廳所在地ヲ擧ゲヨ但シ府縣名ヲ併記セヨ

(三) 左ノ地名ノ位置及其名高キ理由ヲ記セ

寬城子。元山津。淡水。忠海。男鹿半島。曇原。三池。

歴史科

(一) 莊園ノ起源ヲ述ベヨ

(二) 保元ノ亂ノ原因ヲ問フ

(三) 北條早雲ノ事蹟ヲ述ベヨ

自在畫科

動物ノ圖 臨畫

用具ハ鉛筆毛筆任意トス

体操科

(一) 連續徒手体操第二演習

明治四十二年五月(第十七回)施行

修身科

(一) 國憲ヲ重ンジ國法ニ遵ヒ
右解釋スベシ

(二) 教師ノ心得ヲ述ベヨ

(三) 禮讓ノ必要

教育科

(一) 教授ノ意義ヲ問フ

(二) 算術教授ノ要旨ヲ述ベヨ

(三) 尋常科第一學年國語教授案ヲ作レ
教材 尋常小學讀本卷一第三課ニテ雀ノ圖アリ
既習文字 イ、エ

國語科

講讀

(一) 解釋

一、常々心にかけて掃灑にしたらん座席と俄かに取りつくろひたらんとはいかでか見ニがふべき。人平生をたしなまずして其期に臨み僞りたらんには誠の俄掃除なるべし

二、人の親の心は闇にあらねども子を思ふ道に惑ひぬるかな

(二) 六冠の漢字十個を擧げ其音と訓とを記せ

(三) 左の文を誤あらば正せ

一、この母にしてこの子あるとぞいふべし

二、士人に案内されて寺にて絶頂に達しる

作文

小學兒童の遊戯を見る

習字

(一) 去華就實

右半紙一枚ニ楷行二體ニ大書スベシ

(二) 凡ソ身ヲ立ツノ道ハ忠孝勤倹ノ四字ニ在リ忠孝ハ其分ナリ勤倹ハ家ヲ興ス法ナリ

右半紙ヲ横ニシテ其前半枚ニ楷書體ニ細書スベシ

(三) 在學

右ハ横紙後ノ半枚ニ下筆ノ順序ヲ詳記スベシ

算術科

(1) $\dfrac{4\frac{1}{5}}{3\frac{2}{4}-2}+\dfrac{7\frac{2}{3}}{3\frac{1}{8}-1\frac{2}{5}}$

(2) 甲乙丙三人ニテ金九百九十九圓ヲ有シ而シテ甲ハ乙ヨリ十八圓多ク丙ハ乙ヨリ八十圓少シト云フ各何程宛ヲ有スルカ

(3) 某數ノ$\frac{3}{8}$ノ$\frac{1}{6}$ガ九圓ニ等シト云フ其數如何

(4) 或女工ガ毎日十時間ヅヽ働キテ六日間ニ織リ上グル織物ヲ五日間ニ織リ上グルニハ毎日幾時間ヅヽ働クベキカ

(5) 男工若干名ト女工七名ト日給合計五圓八十錢ニシテ男工二人ノ日給ハ四十五錢女工ハ二十五錢ナリト云フ男工ノ數ヲ求ム

珠算

(1) 158＋68＋382＋35

(2) 8302÷87

(3) 速算(口唱)

口第一編之部 125, 323, 68, 425, 342, 635, 616, 405, 189, 242, 308, 205, 117

理科

(一)種子散布ノ方法ヲ述ベヨ
(二)昆虫ト蜘蛛トノ異ル點ヲ記セ
(三)光ガ一點ヨリ發シ平面鏡ニ當ル時ノ反射ノ圖解セヨ
(四)音ノ強弱高低ニツキテ記述セヨ

地理科

(一)赤道地方ノ熱キハ何故カ
(二)韓國ト我國ノ政治上ノ關係ヲ述ベヨ
(三)左ノ地名ニ傍訓ヲ施シ位置及有名ナル所以ヲ記セ
打拘。多武峯。新冠。野洲川。媽港。

歴史科

(一)鎌倉時代ノ新宗派ニ就テ知ル所ヲ記セ
(二)島原ノ亂ノ始末ヲ述ベヨ
(三)松平定信ノ事蹟ヲ記セ
(四)左ノ名詞ニ就キ簡單ニ說明セヨ
イ、參勤交代
ロ、埴輪
ハ、國分寺
ニ、輪王寺宮
ホ、小野妹子

自在畫科

器物、植物、動物等ノ略畫ノ範本ヲ與ヘテ臨畫セシム
用具、毛筆、鉛筆就レニテモ受驗者ノ任意トス

体操科

普通

(一) 各個演習

(二) 第一徒手体操

兵式

(一) 不動ノ姿勢　停止間ノ轉回

(二) 行進間ノ轉回　右轉回

（問題終）

鹿兒島縣小學校教員檢定試驗問題解答集（最近三年間）

解答之部

明治四十四年五月（第廿一回）施行

修身科

(一) 『進ンデ公益ヲ廣メ世務ヲ開キ』を解釋すべし

〔解〕公益を廣め世務を開くとは社會の爲め同衆の爲めとなる事業を施すの謂にして即一身を後にし萬人を先にし以て邦土の幸福に從事することなり此種の國民の多少は國家强弱の由て分る、所なれば智德を具ふる者は必ず進んで社會一般の利益を圖り社會に有用なる事業を興さゝるべからず

(二) 親族の交際に就て記せ

口解答之部

普通科

兵式

（附錄參）

鹿兒島縣
小學校

教員檢定試驗問題解答集（最近三年間）

解答之部

明治四十四年五月（第廿一回）施行

修身科

(一)『進ンデ公益ヲ廣メ世務ヲ開キ』を解釋すべし

〔解〕公益を廣め世務を開くとは社會の爲め同衆の爲めとなる事業を施すの謂にして即一身を後にし萬人を先にし以て邦土の幸福に從事することなり此種の國民の多少は國家强弱の由て分る、所なれば智德を具ふる者は必ず進んで社會一般の利益を圖り社會に有用なる事業を興さゞるべからず

(二) 親族の交際に就て記せ

〔解〕第二部

〔解〕親族はもと同じ家より別れて一家をなし又は他に縁付き或は他より縁付き來りたる人あるが爲め特別の關係を生じたるものなれば其交情を二三にせず互に相愛し相敬し又相當の禮儀を以て相交はり常に親睦すべきものとす。親族にして親睦する時は萬事に就きて利便多し。故に親族間は常に親交を完うせんことを要す且つ親族は互に緩急相扶け相救ひて一門親族の繁榮を求むべきは固より當然のことなり。然れども又猥りに親族の情誼を恃みて獨立自存の精神を失ふが如きことあるべからざるなり

(三) 貴人に對する言語

〔解〕貴人に對して篤く尊敬し常に尊敬の意を表せざるべからず故に言語の如きも自己の思想を交換發表する者なるに依り一言半語たりとも輕々しく口より發すべからず常に叮重に談じ人に尊敬の念あることを須臾も忘るべからず猥りに野鄙なる言語を用ひざる樣に注意することを肝要なり

講讀科

(一) 言語ハ人ノ感情ヲ動カスニ最モ強ク一語ノ不明ヨリ不測ノ誤解ヲ生ズルコトアリ言ヲ發スルニ先ダチヨク其言ヲ選バザルベカラズ

〔解〕言葉ハ人ノ心ヲ動カスニ最モ強キモノデ僅カ一言ノ不明ノ箇所アルヨリ測ラザル誤解ヲ生ジ他人ノ感情ヲ害ヒ親シキ間柄モ遂ニ疎クナルコトモアルモノデアル故ニ言フ前ニ必ズ其言葉ヲ選ビテ輕卒ニ又ハ猥リニ野鄙ナド使ハヌ樣平常注意セヂバナラヌ

(二) フグ雜。縣チャウ。出キンボ。ユウビン局。植物サイバイ。外國ボーエキ。修ゼン。改チク。ケッセイレウ法。フンレイド力。ボシンセウ書。

〔答〕複雜。縣廳。出勤簿。郵便局。植物栽培。外國貿易。修繕。改築。血精療法。奮勵努力。戊申詔書

教育科

(一) 教式ノ種類ヲ擧ゲテ說明セヨ

〔解〕教式ノ種類ヲ左ノ五種ニ概別ス

A、兒童受働ノ地位ニアルモノニハ

一、示範式　教師先ツ摸範ヲ與ヘ實例ヲ示シ兒童ヲシテ之ニ倣ハシムルモノニテ体操、唱歌、書キ方、圖畫ノ如キハ主ニ此ノ教式ニ依ル

二、示教式　實物。圖畫又ハ摸型等ヲ用ヒ或ハ實驗ヲ示シテ觀察セシムルモノニテ理科、地理ノ如キ教科ニ多ク用ヒラル此式ヲ用フルトキハ能ク其要點ヲ指示シ十分ノ時間ヲ與ヘテ明瞭ニ觀察セシメ且各兒童ヲシテ觀察ノ結果ヲ話サシムル等ノ注意ヲ要ス

三、講演式(又ハ講話式)　教師ハ連續セル講話ヲナシ兒童ハ默シテ之ヲ聽クモノニテ修身、歷史等ノ講話、朗讀書取ノ如キ皆此ノ教式ニ屬ス。而シテ教師ノ言語ハ最モ明瞭ニシテ平易ナルヲ旨トシ實物圖畫等ヲ利用シ、長キ教材ハ之ヲ數節ニ分チ着々ト兒童ヲシテ了解セシムルヲ要ス

B、兒童發動ノ地位ニアルモノ

四、課題式　問題ヲ提出シ兒童ヲシテ自働セシムルモノニテ算術及國語科ノ綴リ方ヲ課スル場合ノ如シ

此ノ式ヲ用フルトキハ教師ハ單ニ指導スルニ止メ成ルベク兒童ヲシテ自ラ發見シ自ラ作爲セシムベシ

五、問答式　教師問ヲ發シ兒童之ニ答フルモノニシテ最モ普通ニ用ヒラル此ノ式ハ小學校ノ教授ニ於テ適用ノ範圍極メテ廣ク其利益甚ダ大ナルモノナレバ此教式ヲ用フルニハ種々ノ注意ヲ要ス發問ニツキテハ

一、先ヅ全級兒童ニ向ヒテ問ヲ發シ適當ノ猶豫時間ヲ與ヘ然ル後一兒童ヲ呼ビテ答ヘシムベシ名指サレタル兒童ノ答ガ正シカラザル時ハ他ノ兒童ヲシテ修正セシム

二、指名ハ偏スベカラズ然レ共又一一席順ニ從ヒテ指名スルハ惡シ

三、發問ハ兒童ノ力ニ相應スベシ全級兒童ノ答フルコト能ハザルカ又ハ答ノ誤レル時ハ其發問ノ不適當ナルモノナレバ更ニ發問ノ形ヲ變ジ又ハ之ヲ分チテ數個ノ問トナス

四、發問ハ簡單ニシテ理解シ易ク其範圍明瞭ナルベシ問ニ對シテ答ノ多樣ナレハ

發問ノ範圍廣キニ失シタルナリ

五、發問ヲ繰返スハ却ッテ兒童ノ不注意ヲ招キ敎授ヲ亂ス恐アリ又問ノ中ニ答意ヲ含ミ若クハ答ヲ暗示スルハ兒童ノ依賴心ヲ起サシムル弊アリ

敎師ノ問ニ對スル兒童ノ答ヲ處置スルニハ左ノ諸項ニ注意スルヲ要ス

一、兒童ノ答ノ正シキ時又ハ其誤ノ明ナル場合ニハ敎師ハ直ニ之ヲ可決シ又ハ否決スベシ

二、答ガ正シカラザルモ幾分カ採ルベキ部分アラバ多少ノ助言ヲ與ヘテ之ヲ補充訂正セシム此際全級兒童ヲシテ修正セシメ其正否ヲ判定セシムルコトアリ之ヲ級決ト云フ其後ニハ多ク敎可ヲ用フ

三、答ノ正シカラザルハ多クハ兒童ノ不注意ナルカ敎授ノ不行屆カ又ハ發問ノ不適當ナルニヨルモノナレバ妄ニ之ヲ叱責シ嘲笑スルガ如キコトナク、ヨク其原因ヲ考ヘ適應ノ處置ヲナスベシ

(二) 尋常小學校第二學年ニ左ノ敎材ヲ敎授スル敎案ヲ示セ(半時間)

4×2　　4=2×5

〔解〕豫備。二ノ二ヲ乘ジタル者ハ四ナリシ事ヨリ三ニ二ヲ乘ジタル者ハ六ナリシコトヲ問答シテ目的ヲ示シテ敎授ニ入ル

敎授　4=2+2　2+2=4　4=2×2

6=2+2+2　2+2+2=6　6=2×3

8=2+2+2+2　2+2+2+2=8

8=4+4　8=4×2

ヲ以テ逆計セシム

4+△=8　8−△=4

等ヲ練習セシメ如何ナル場合又ハ如何ナル事物ニツキ計算スルモ同一ナルコトヲ知ラシム

應用　紙四枚アル所ヘ二枚貰ヘバ幾枚ナルカ

六枚ニ二枚貰ヘバ幾枚ナルカ

八枚ヨリ四枚引ケバ幾枚ナルカ

四錢宛ニツハ幾錢カ

四錢ノ筆二本ノ價ハ幾錢ナルカ

等ノ如ク實用問題ヲ出シ八ナル數ノ運用ヲ自在ナラシム

(三) 綴リ方ノ教授ニ於ケル板上訂正ニツキ注意スベキ點ヲアゲヨ

〔解〕 (イ) 全体ノ文章ニツキ大体ノ段落ヲ切リ各區域毎ニ字句ノ訂正、事實ノ加除ヲナスベシ

(ロ) 訂正ニハ色チヨーク(ヲ用ヒ原文ヲ存シ置キ其傍ニナスヲ要ス

(ハ) 一段毎ノ訂正終ラバ全体ヲ通覽セシメテ之ヲ批評セシメ最後ニ數回之ヲ朗讀セシム

(ニ) 出來上リタル文章ハ各自ノ帳簿ニ記入セシメ且之ニ對照シテ各自ノ文章ヲ自ラ訂正シテ差出サシメ教師之ヲ檢閲シ符標評號ヲ返シテ返附ス

算術科

(1) 次ノ分數ヲ簡單ニセヨ

$$\frac{(\frac{5}{3}-\frac{3}{5})\times 3\frac{3}{4}}{28}=\frac{\frac{16}{15}\times\frac{15}{4}}{28}=\frac{4}{28}=\frac{1}{7}$$

(2) 或學校ニ於テ三級學生徒ノ總數ハ百五十六人ニシテ甲學級ノ人數ハ乙學級ヨリハ八人少ナク丙學級ハ乙學級ヨリハ五人多シト云フ各學級各幾人ナルカ

〔解〕甲級ヲ單位トセバ乙級ハ甲組＋8人，丙組ハ甲＋8人＋5人ニシテ 156人ハ甲ノ3倍ヨリハ(8人＋8人＋5人)丈多シ依テ156人—(8人＋8人＋5人)＝135人……ハ甲組ノ三倍

故ニ　135人÷3＝45人……甲組ノ人數

45人＋8人＝53人……乙組ノ人數

53人＋5人＝58人……丙組ノ人數

(3) 4.8瓦ノ狀袋ニ7匁5分ノ書狀ヲ入レタル手紙アリ全重量幾何ナルカ又切手料幾何ナルカ

〔解〕 1瓦＝$\frac{4}{15}$匁　$\frac{4}{15}$匁×4.8＝1.3匁$\frac{12}{15}$

7匁5分＋1匁3$\frac{12}{15}$分＝8匁8$\frac{12}{15}$分……書狀ノ重量

4匁迄三錢ニ付8匁ニテハ六錢猶餘アルニヨリ料金ハ九錢ヲ貼布セザルベカラズ

(4) 甲乙丙三人共同シテ或會社ヲ起シ甲ハ一万二千圓乙ハ一万五千圓丙ハ一万八千圓ヲ出

金シーケ年後純益金二千七圓ヲ得タリ出資高ニ應ジテ配分セバ各ノ所得幾何ナルカ

〔解〕 甲乙丙ノ出資ノ割合ハ12000：15000：18000ナルヲ以テ之ヲ約スルトキハ

12：15：18ナリ　依テ

$$2700圓\times\frac{12}{12+15+18}=720圓\cdots\cdots甲$$

$$2700圓\times\frac{15}{12+15+18}=900圓\cdots\cdots乙$$

$$2700圓\times\frac{18}{12+15+18}=1040圓\cdots\cdots丙$$

(5) 或仕事ヲナスニ甲一人ニテハ十二日乙一人ニテハ十八日ヲ要ス今二人共ニ三日間從事シタル後ヲ乙一人ニテ引キ受クレバ其幾日ニテ成就スルカ

〔解〕 甲一人一日ハ全体ノ$\frac{1}{12}$ノ仕事ヲナシ

乙一人一日ハ全体ノ$\frac{1}{18}$ノ仕事ヲナス

甲乙兩人一日ニハ全体ノ$\frac{1}{12}+\frac{1}{18}=\frac{5}{36}$ヲナス

依テ三日間ニテハ$\frac{5}{36}\times3=\frac{15}{36}$ヲナスニヨリ殘業ハ

$1-\frac{15}{36}=\frac{21}{36}$……之ヲ乙ガナスニヨリ

$\frac{21}{36}\div\frac{1}{18}=1.5$……即1日半ニテ成就ス

(6) 元金五百圓ヲ年利七分五厘ニテ二年六ケ月ニテハ元利合計幾何トナルカ

〔解〕 元利合計＝元金×(1＋利率×期間)

二年六ケ月＝2,5年　依テ　500圓×(1＋0.075×2.5)＝1343.75圓

答千三百四十三圓七十五錢

珠算

(1) $37\times78+425\times93=29661$

(2) $1453\times8.6-12097.8=398$

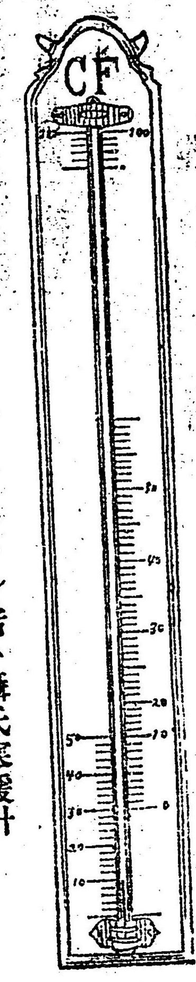
(3) $46326\div73=634$ト剰餘44

(5) 運算略ス

理科

(一) 攝氏及ビ華氏ノ寒暖計ニ於テ目盛ヲ圖解セヨ

〔解〕



(イ) 氷點ヲ〇度トシ沸騰點ヲ百度トシタル者ハ攝氏寒暖計

(ロ) 氷點ヲ三十二度トシ沸騰點ヲ二百十二度トセル者ハ華氏ノ寒暖計

(二) 合金ニ就テ知ル所ヲ記セ

〔解〕或種ノ金屬ガ他ノ金屬ト化合シテ全ク別種ノ金屬トナレル者ヲ云フ殊ニ此合金ヲ造クルニ適スル主ナル合金ヲ擧グレバ

眞鍮(又ハ黃銅)ハ銅及亞鉛

洋銀 銅。亞鉛及ニッケル

白銅 銅及ニッケル

赤銅 銅及金

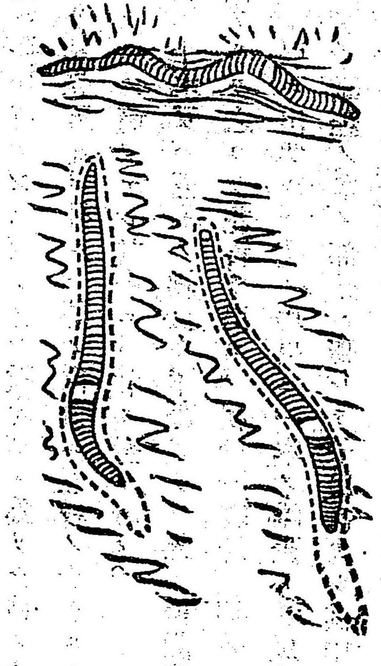
青銅。錫及亞鉛

四分一 銅及銀

ノ如シ

(三) 蚯蚓ノ略圖ヲ書キ其進動法ヲ記セ

〔解〕



蚯蚓ハ體ヲ伸縮シテ匐ヒ行クモノナリ、運動ヲ助クル爲ニ腹面ニハ數多ノ微小ナル粗毛アリテ皆後方ニ向フテ生ジ体ノ後退ヲ防グ用ヲナス

(四)　ツツジノ花ニツイテ記セ

〔解〕

ツツジノ花ハ合瓣花ニシテ柄ヲ有シ數箇ヅヽ、集リテ枝ノ先キニ著ク。花ノ最外部ニ綠色ノ萼アリ其先五片ニ分ル。萼ノ內側ニ五枚ノ大ナル美シキ花瓣アリ其本ノ部分ハ互ニ合シテ一ノ筒ヲナシ其中ニハ甘キ蜜ヲ貯フ。

花瓣ノ內側ニ十本又ハ五本ノ細長キ雄蕊アリ其先ニ楕圓形ノ葯ヲ著ク。葯ノ先キニハ二ツノ孔アリテ之ヨリ花粉ヲ出ス。花粉ハ蜘蛛ノ網ノ如キ細キ糸ニテ綴ラレ容易ク葯ノ中ヨリ引キ出サル。花ノ中央ニ一本ノ雌蕊アリ雄蕊ヨリモ長クシテ其先ハ稍々太クナレリ。雌蕊ノ本ノ部分ハ膨レテ子房ヲナシ其中ニ數多ノ小サキ粒ヲ有ス。

ツツジノ花ハ小サキ蕾ノ時ハ全ク萼ニテ包マル蕾大キクナレバ花瓣ハ外ニ現ルルモ尙開カズシテ其中ニ雄蕊ト雌蕊トヲ包ム、サレバ花瓣ハ萼ト共ニ蕾ノ時花ノ內部ヲ保護スル用ヲナス

ツツジノ花ハ多ク五月頃ニ開ク、蜂、蝶ナドハ此ノ花ノ美シキ花瓣ヲ目標トシテ飛ビ來リ花ノ中ニ入リテ蜜ヲ求ム。此際知ラズ識ラズ花粉ヲ其体ニ着ケ後他ノ花ニ飛ビ行キテ之ヲ其花ノ雌蕊ノ先ニ附著セシム、カクテ雌蕊ノ先ニ花粉附著スレバ雌蕊ノ子房ハ成長シテ果實トナリ其中ノ小サキ粒ハ種子トナルナリ

地理科

(一)　本縣ノ各郡役所所在地ヲ列擧セヨ

〔解〕

鹿兒島郡役所(鹿兒島市)　伊佐郡役所(大口村)
姶良郡役所(加治木村)　肝付郡役所(鹿屋村)
熊毛郡役所(北種子村)　日置郡役所(中伊集院村)
川邊郡役所(加世田村)　揖宿郡役所(指宿村)
薩摩郡役所(隈之城村)　出水郡役所(上出水村)
囎唹郡役所(岩川村)　大島々廳(名瀨村)

(二)　朝鮮ノ主要ナル產物ヲ問フ

〔解〕

(イ)　農業　米、麥、豆、人參、

口絵 第二之部

牧畜、牛、馬、豚、鶏

森林、材木

(ロ) 鑛業 金、鐵

(ハ) 水產業 凡テノ水產ニ富ム

概別シテ以上三大主要產物トス

(三) 次ノ各項ヲ說明セヨ

阿武隈山脈、經木眞田、諏訪湖、浦賀、バシ海峽、厦門

〔解〕

(イ) 阿武隈山脈 本州東北部ノ太平洋ニ面シ北ニ走リ八溝山、筑波山等隆起ス

(ロ) 經木眞田 岡山縣玉島附近ヨリ產ス帽子類ヲ製ス麥稈眞田ト共ニ同縣ノ特產物ナリ

(ハ) 諏訪湖 湖ハ長野縣約中央ニアリ周圍四里餘ニシテ氷ノ產多ク冬時ニハ氷滑ノ擧近時盛ニナリツツアリ而シテ其湖岸ノ岡谷製絲場ノ如キハ同湖水ヲ用ヒテ盛ニ從業シツヽアリ之ヨリ天龍川發ス

(一) 大寶ノ律令

(二) 御名ハ天武天皇、天武天皇ノ御孫ニ當ラセラル此御代ニ當リ元正天皇、市臣鎌足ヲシテ律令ヲ撰定セシメ、天武天皇ノ御代ニ始リテ此ノ御代ニ成ルモノヲ大寶ノ律令トス其後元正天皇ノ御代ニ至リテ又之ヲ修正シ大寶ノ律令ト共ニ施行セラレタリ

牧畜、牛、馬、豚、鷄
森林、材木
(ロ)　鑛業　金、鐵
(ハ)　水産業　凡テノ水産ニ富ム
概別シテ以上三大主要産物トス
(三)　次ノ各項ヲ説明セヨ
阿武隈山脈、經木眞田、諏訪湖、浦賀、バシ海峽、厦門

〔解〕
(イ)　阿武隈山脈　本州東北部ノ太平洋ニ面シ北ニ走リ八溝山、築波山等隆起ス
(ロ)　經木眞田　岡山縣玉島附近ヨリ産ス帽子類ヲ製ス麥稈眞田ト共ニ同縣ノ特産物ナリ
(ハ)　諏訪湖　湖ハ長野縣約中央ニアリ周圍四里餘ニシテ氷ノ産多ク冬時ニハ氷滑ノ擧近時盛ニナリツツアリ而シテ其湖岸ノ岡谷製絲場ノ如キハ同湖水ヲ用ヒテ盛ニ從業シツヽアリ之ヨリ天龍川發ス

(ニ)　浦賀　ハ横須賀市ノ南方ニアリテ造渠會社アリ其海濱ハ概ネ沙濱ニシテ風景ヨキ所アリ其近傍ナル久里濱ハ「ペルリ」上陸ノ地トシテ史上ニ名高シ
(ホ)　バシ海峽　我臺灣トフイリッピン群島トノ間ノ海峽
(ヘ)　厦門　ハ臺灣海峽ニ面シテ福州ト共ニ我臺灣トノ交通貿易盛ニ行ハル、殊ニ茶ノ輸出盛ナリ

歷史科

(一)　大寶ノ律令

〔解〕第四十二代文武天皇ハ天武天皇ノ御孫君ニ當ラセラル此御代ニ最モ著シキ事業ハ律令ノ選定ナリ、之ヨリ先キ天智天皇、中臣鎌足ヲシテ法令ヲ選セシメ、天武天皇又之ヲ補修セシメ給ヒシガ今コノ御代ニ至リテ忍壁親王、藤原不比等勅ヲ奉ジテ又之ヲ改修セルナリ大寶元年(一三六一)成ルヲ大寶ノ律令ト云フ其後元正天皇ノ御代(一三七七)不比等更ニ勅ヲ奉ジテ修正シ夫ヨリ永クコレニ據ル、令ハ皇室、政府、軍事、教育等ニ關スル法ノ大綱ニシテ、律ハ之ニ違フモノヲ罰スル刑法ナリ大寶令

ハ此後永ク政治ノ根據トナリ其官制ノ如キハ時ニ多少ノ變更アリ又多クハ名ノミナリシ時代アリト雖尚其形式ヲ存シテ明治十八年ノ官制大革ノ際ニ及ベリ

(二) 德川吉宗ノ事蹟ヲ略述セヨ

〔解〕七代將軍家繼薨シテ嗣子ナキヲ以テ享保元年(一二三七六)家康ノ曾孫吉宗紀州ヨリ入リテ第八代ノ將軍トナル吉宗元祿以來風俗ノ奢侈、柔弱ニ流レタルヲ慨キ自ラ率先シテ勤儉質素ヲ奬メ武技ヲ與シ遊獵ヲ行ヒテ士氣ヲ練ル紀綱振ヒテ上下氣風ココニ一變セリ、法律ヲ制定シ有名ナル大岡忠相ヲ町奉行ニ任用シ洋書ノ購入ヲ禁ゼラレシ者モ宗教ニ關係ナキ者ハ之ノ購讀ヲ許シ殖產ヲ奬勵スルナド見ルベキコト多カリキ。吉宗ノ治世ハ第百十四代中御門天皇第百十五代櫻町天皇ノ御代ニワタリ米穀豐カニ人民和樂ス人呼ンデ吉宗ヲ米將軍トモ云フ實ニ江戶幕府中興ノ名主ニシテ世ニ其政ヲ稱シテ享保ノ政治ト云フ

(三) 左ニ就テ記セ

平等院。多賀城。竹之內式部。

〔解〕平等院 關白藤原賴通カ後冷泉天皇ノ永承六年(一七一一)ニ宇治ニ建テタルモノニシテ其鳳凰堂ハ今尙存在ス、鳳凰ノ兩翼ヲ張リテ尾ヲ後ニノバシタルニ型トリ本堂、翼樓後尾ヨリ成ル美麗莊嚴、藤原時代建築物ノ好模範タルトトモニ其建築配置、大內裡ノ八省院及豐樂院等ノ其トヨク似タリ

多賀城 桓武天皇ノ御代ニ智勇才略並ビナキ坂上田村麻呂ヲ征夷大將軍トナシ遂ニ其巢窟ヲ覆スコトヲ得タリ田村麻呂征伐ノ終點ニ城ヲ立ツ多賀城ナリト

竹之內式部

幕末ニ當リ勤王ノ說ハ水戶ニ於テ國史ヲ編纂シ大義名分ヲ明ニセシ結果、古學ノ隆興スルヤ益々盛トナレリ、サレド勤王說ノ近因トナリシハ竹之內式部、高山正之、蒲生秀實等ナリキ、殊ニ式部ハ已ニ寶曆中京師ニ出デテ公卿ノ間ニ遊ビ學問ヲ勤メテ勤王ヲ說キ幕府ノ忌ム所トナリ京都ヲ逐ハレタリ、其後藤井右門ト山縣大貳等幕府ヲ排斥シテ勤王說ヲ主張セシニヨリ幕府ハ右門、大貳ヲ殺シ遂ニ式部モ流罪ニ處セラレタリ

明治四十三年十月(第廿回)施行

修身科

(一)『世務ヲ開キ』ヲ説明セヨ

〔解〕社會ノ公益ヲ計ルコト並ニ世間有用ナル業務ヲ開クコトハ其ノ團体ニ屬スル所ノ者ガ盡スベキ務ナリトス而シテ眞理ヲ發見シ器械ヲ發明シ學校ヲ興シ病院ヲ設ケ道路ヲ通ジ橋梁ヲ架シ鐵道ヲ敷キ航路ヲ開キ殖産興業ヲ圖ルガ如キハ皆コレ公益ヲ擴メ世務ヲ開クノ道ナリ故ニ人ハ少年ノ時ヨリ此心掛ヲ懷キ己ガ事業ヲ盛大ナラシムルト共ニ進ンデ社會公共ノ便益ヲ企圖スルコトヲ期セザル可ラズ

(二)訪問ノ心得ヲ問フ

〔解〕人ヲ訪問スルニハ相當ノ敬意ヲ拂フヲ要ス

長上ニ對スル場合ヲ考ヘ時ト所並ニ用向トヲ考ヘ合セ先方ノ迷惑ニナラヌ樣心掛クベシ、或要向ヲ以テ訪問シタル時ハ要向以外ノ事ニ多ク時間ヲ費スヨリハ相當挨拶ノ後直チニ所要ヲ談ジ出來ルダケ先方ニ迷惑ヲカケヌ樣スベシ

訪問ノ場合モ言語、禮儀等ノ事ヲ忘レズ凡テ敬意ヲ以テナスベシ

國語科

講讀

(一)解釋　但シ傍線ヲ施シタル者ハ讀方ヲ附記セヨ

(イ)赤穗浪士が數年の苦難を忍び遂に主君の仇を報じて從容死につけるは德川時代に於ける史上の一美談たるのみならず日本武士の精華を發揮せるものといふべし

〔解〕從容(ショウヨウ)　精華(セイクワ)

赤穗の浪士が四五年間の難義苦勞ヲ堪エ忍ビトウ〳〵主君ノ仇ヲ報ヒテ我思霽レタリトナシ、少シノ惡ビレタル所モナク潔ヨク死シタノハ德川時代ニ於ケル史上ノ一ノ美シキ談柄デアルバカリデナク我日本武士ノ精神ノ華ヲ發シ揮ゲタモノト云ハヌ

バナラヌ

(ロ) 翌朝警固の武士ども之を見つけて何事を如何なるものが書きたるかと讀みかねて上聞に達したり

〔解〕警固(ケイゴ) 上聞(ジョウブン)

アクル朝警メ固メ守ツテ居タ武士ドモガ之ヲ見ツケテ何事ヲドンナ者ガ書キタルカヲ了解シ難ク陛下ニ申上ゲタノデアル

(ハ) 笑ふ門には福來る

〔解〕凡テ心ヨリ喜ヲ以テナセバ困難ノ仕事モ易クナス事ヲ得知ラズ〳〵ノ間ニ面白クナシ遂グル事ヲ得故ニ苦シイナガラモ笑ツテ事ヲナシオレバ福運ニムクモノデアル

(二) 書取

アンラク。キリツ。ニグルマ。モクテキ。トダナ

〔解〕安樂。規律。荷車。目的。戸棚

教育科

(一) 教授ノ目的ヲ問フ

〔解〕教授ノ目的ヲ分チテ二トナス

一ハ教授ニヨリ智識、技能ヲ傳達シテ之ヲ收得セシムルコト、二ハ之ヲ練習、應用シテ心身ノ働キヲ練磨スルコトナリ小學校ノ教授ハ何レノ點ニ特ニ力ヲ注グベキカ

若シ第一ニノミ重キヲ置カバ徒ニ散漫雜ナル知識、技能ノ收得ニ止リ之ヲ運用スル能力ナク從ヒテ其知識技能ハ價値ナキモノトナラン、之ニ反シテ第二ニノミ意ヲ用ヒナバ其教授スル所ノ知識、技能ハ將來ノ生活上ニ有要ナルガ爲ニ之ヲ教授スルニアラズシテ單ニ心意ノ諸能力ヲ啓發シ修練センガ爲ニ教授スト云フガ如キ謬見ニ陷リ其授クル所ノ知識、技能ハ實用ニ遠ザカリタルモノトナルベシ

サレバ教授ノ二作用ハ決シテ其一ニ偏スルコトナク適當ニ調和シテ一方ニハ必要ナル知識、技能ヲ撰擇シテ之ヲ收得セシムルト同時ニ他方ニハ實地ノ所要ニ應ジ十分ニ之ヲ練習シテ應用自在ナラシメザル可ラズ

施行規則第一條ニ『知識、技能ハ常ニ生活ニ必須ナル事項ヲ選ミテ之ヲ教授シ反覆練習シテ應用自在ナラシメンコトヲ務ムベシ』ト示サレタルハ以テ其ノ目的ノア

ル所ヲ知ルニ足レリ

(二) 修身科教授ノ要旨ヲ記シ之ヲ說明セヨ

〔解〕修身ハ教育ニ關スル勅語ノ旨趣ニ基キテ兒童ノ德性ヲ涵養シ道德ノ實踐ヲ指導スルヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ初ハ孝悌、親愛、勤儉、恭敬、信實、義勇等ニ就キ實踐ニ適切ナル近易ノ事項ヲ授ケ漸ク進ミテハ國家及社會ニ對スル責務ノ一班ニ及ボシ以テ品位ヲ高メ志操ヲ固クシ且進取ノ氣象ヲ長ジ公德ヲ尙ハシメ忠君愛國ノ志氣ヲ養ハンコトヲ務ムベシ、高等小學校ニ於テハ前項ノ旨趣ヲ擴メテ一層陶冶ノ功ヲ堅實ナラシメンコトヲ務ム

女兒ニアリテハ特ニ貞淑ノ德ヲ養ハンコトニ注意ス

左ノ教授案ヲ作レ

尋常小學讀本卷二

ウマイゴチサウモ毎日タベルトシマヒニハイヤニナリマス。オモシロイアソビモ毎日見ルトシマヒニハアキテキマス

備考（一時間新字毎）

〔解〕

要項

內容上 如何ニ珍ラシキ者モ凡テニ於テ終ニハ珍シクナクナルト云フ觀念

形式上 毎ノ新字教授、談話練習

教法

(一) 平生ニ於テ兒童ノ珍ラシク又ハ面白ク感ジタルコトヲ常ニ行フトキハ如何

(二) 答ヲ得テ遊戲等ノ例ヲ引ク併シ最初ノ如ク面白カラズ

(三) 今日學ブ所ハ……目的指示（何何課）

(四) 聽寫及讀ミ合セ、正誤、聽寫ノ際『ゴチサウ』ノ讀方ニ注意ス

(五) 通讀及大意問答

各讀、齊讀數回、各段或ハ全文ヲ通ジテ

(六) 語法教授

文ノ分解

シマヒニハ	イヤニナリマス	アキテクル

(七) 應用

『毎』ノ語法教授　毎日一人毎、一軒毎、等ノ例ヲ設ケテ説明ス

等二三ノ問答

ナガクチルトシマヒニハ［アキテ］キマス

アマリクフトシマヒニハ［シマヒニ］イヤニナリマス

(八) 練習

(1) 本文ヲ反覆練習セシム

(2) 讀ミ振リノ抑揚ニ注意ス

(3) 數回通讀セシメ且ツ意義ヲ談ラシム

(4) 全文ヲ口唱シテ聽寫ヲナサシム讀ミ合セヲナス

改作シタル文ヲ反覆練習最初ハ文字ニヨリ後ニハ暗誦的ニ

文ヲ改作セシム

算術科

(1) 次ノ分數式ヲ簡單ニセヨ

$$(2\frac{5}{9}+3\frac{5}{6})\div(2-\frac{10}{27})$$

〔解〕 $(2\frac{5}{9}+3\frac{5}{6})\div(2-\frac{10}{27})=5\frac{5}{6}\div1\frac{17}{27}=\frac{35}{6}\times\frac{27}{44}=3\frac{15}{88}$

(2) 或數ノ三倍ヨリ二十一ヲ減ジ殘リヲ四ニシテ除スレバ商六ヲ得テ殘三アリトイフ或數ヲ求メヨ

〔解〕 某數×3−21÷4=6　剩餘3

依テ某數ハ逆ニ

$4\times6+3+21\div3=31$……即答

(3) 東倉ニハ米八百二十五俵西倉ニハ米三百七十五俵アリ今十五俵積ノ車ニテ東倉ノ米ヲ西倉ニ積ミ送ルトキハ幾回ニテ兩倉ヘ俵數相等シクナルカ

〔解〕 825俵−375俵=450俵……兩倉ノ差ニシテ此差ガナクナリタルトキハ兩倉相等シ

毎回十五俵宛450俵ノ內ヲ積出スニヨリ全体ニテハ

450俵÷15俵=30……即30回

(4) 或河ノ水量洪水ノタメニ平時ノ水量ノ$\frac{3}{5}$ヲ増シテ二十二尺トナレリト云フ此河ノ平時ノ水量何程ナルカ

〔解〕 $1+\frac{3}{5}=1\frac{3}{5}$……洪水ノ時ノ水ノ量

$22尺\div1\frac{3}{5}=13\frac{3}{4}尺$……平時ノ水量

(5) 一時間ニ十五秒ヅツ後レル時計ヲ十月二十日ノ正午ニ正シキ時計ニ合セ置カバ何月何日ノ何時ニ三十分後ルカ

〔解〕 30分後レルニハ(30分間=180秒)

180秒÷15秒=12……即12時間ヲ要ス

故ニ十月二十日ノ正午ニ合セタル時計ハ12時ノ後ニ三十分後レルニヨリ

十月二十日午後零時

珠算

(1) $3845\times466=1847120$

(2) $631085\div87=54904396$

(3) $4.544\div0.32=14.2$

(4) $415\times83-4572\div36=34318$

(5) 速加算(口唱)

$$\left.\begin{matrix}145,&683,&902,&584,&891\\497,&325,&667,&725,&308\end{matrix}\right\}=5727$$

理科

(一) 塩ノ生ズル場合ヲ例ヲ挙ゲテ説明セヨ

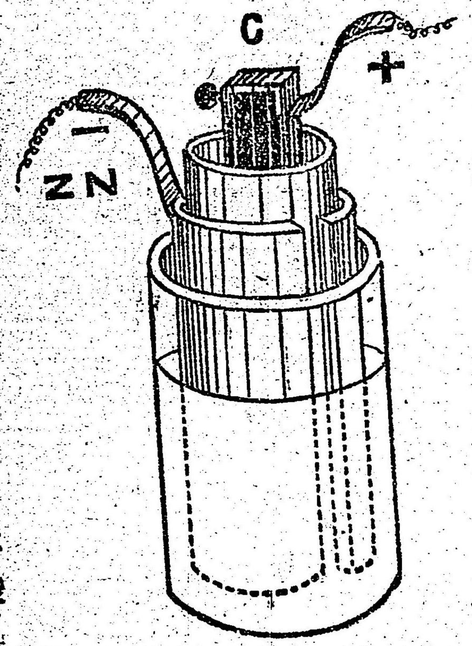
〔解〕

(一) 総ベテ酸ト「アルカリ」トハ適度ニ混ズルトキ中性ノモノヲ生ズ之ヲ鹽類ト稱ス例令バ苛性ソーダノ水溶液ヲ取リ之ニ青色ノリトマス試驗紙ヲ浸シ絞エズ掻キ廻シツヽ徐々ニ鹽酸ヲ加フルニ鹽酸ノ量少キ間ハ試驗紙ハ尚其青色ヲ保テドモ其量少シク多キニ過グルトキハ忽チ赤色ニ變ズルコノ時更ニ苛性曹達ノ少量ヲ加ヘ其量適當ナレバ青色及赤色ノ試驗紙ノレ何ヲ侵スモ其色變化スルコトナシ之ヲ中性反應ニシテ水、鹽水、アルコールノ如キハ其例ノ一ナリ

口解　答之部

(二)　總ベテ金屬ガ酸ニ溶クルトキハ鹽類ヲ生ズ例令バ稀硫酸ニ亞鉛ヲ浸シテ水素ヲ發生セシメ後ニ殘留スル液ヲ煮テ水ヲ蒸發シ去ル時ハ白色ノ結晶ヲ留ムコノ物ハ硫酸亞鉛ト名ツクル一種ノ鹽類ナリ

(二)　ブンゼン電池ノ構造ヲ圖解セヨ



外器中ニ稀硫酸其中ニ亞鉛板ヲ浸シ強硝酸ヲ盛リタル素燒ノ土器ヲ其中ニ置キ土器内ニ炭素棒ヲ立テタルモノナリ、炭素棒ハ陽極、亞鉛板ハ陰極ニシテ動電力ハ一、九「ボルト」ナリ

博物科

(一)　しだ類ノ繁殖法ヲ問フ

〔解〕しだ類ハ葉、地下莖、根ヲ具フレドモ普通ノ植物ト異ナリテ花ヲ生ズルコトナク葉ノ裏ニ胞子ヲ生ジコレニヨリテ繁殖ス

(二)　いかノ足數ヲ問フ

〔解〕頭ノ先端ニ口アリ、口ヲ圍ミテ十本ノ長キ足出デコレニ數多ノ疣アリテ能ク物ニ吸ヒ著ク

(三)　人體ニ於ケル齒ノ種類及ヒ數ヲ問フ

〔解〕齒ハ上下兩顎ニ竝列シ其根ハ深ク骨内ニ入レリ、幼少ナル者ノ齒ハ乳齒ト云ヒ其數二十アリ六七歳ノ頃ニハ脫ケテ永久齒之ニ代リ成人ニハ三十二枚トナル卽チ上顎下顎共ニ四枚ノ門齒ト二枚ノ犬齒ト四枚ノ小臼齒ト六枚ノ大臼齒トアリ各左右間數ニ

口解　答之部

口解　答之部

分レテ對立ス、此大臼齒ハ乳齒ニハ存セズシテ殊ニ其最モ奥ナルハ十八歳ヨリ二十歳マデノ間ニ生ズ

種類　門齒　八
　　犬齒　四
　　小臼齒　八
　　大臼齒　一二
　　計三十二枚

地理科

(一) 日本ノ主要ナル炭田ヲ列擧セヨ

〔解〕北海道札幌地方
福岡縣豐築炭田

(二) 東京ヨリ諸方ニ向ヘル鐵道線ノ方向ヲ示シ名ヲ記セ

〔解〕(1) 東海道線……東海道ニ沿ヒ神戸間
(2) 中央東線……甲州ニ沿ヒ敷設中
(3) 高崎線……中仙道ニ沿ヒ大宮高崎間
(4) 信越線……中仙道ニ沿ヒ高崎新潟間
(5) 東北本線……奥州街道ニ沿ヒ青森間
(6) 常盤線……濱街道ニ沿ヒ岩沼間
(7) 總武本線……千葉ヲ經テ銚子間
(8) 東武線……足利ヲ經テ伊勢崎間

(三) 左ノ地名ノ位置及名高キ理由ヲ記セ

(1) 仁川

〔解〕仁川ハ京城ノ外港ニシテ開港場ノ首位ヲ占ムルモ良港ナラズ日露戰役ニ名高キ月尾島其前ニ横ル

(2) 三池

〔解〕福岡縣西北ノ有明海ニ面シ著名ノ石炭産地ニシテ大牟田ハ三池炭積出ノ要港ナリ

(3) 室蘭

〔解〕北海道膽振國ノ內浦灣口ニ面シ開港場ニシテ本道中第一ノ石炭輸出港ナリ

(4) 帶廣北海道十勝國十勝川ニ沿ヒ廣大ナル平野アリ開拓次第ニ其歩ヲ進メ其中心ヲナス

(5) 城崎

兵庫縣日本海斜面ニ面シ圓山川ニ沿ヒ浴客多シ附近ニ玄武洞アリ

歷史科

(一) 後三條天皇ノ事蹟ヲ略述セヨ

〔解〕後冷泉天皇崩ジテ皇太子立チタマフ第七十一代後三條天皇ト申ス天皇ノ御母ハ三條天皇ノ女ニシテ藤原氏ニアラズ天皇性嚴正ニマシ〳〵藤原氏ノ專恣ヲ憤リ即位ノ後親ラ政ヲ行ヒテ大ニ皇威ヲ張リ給フ藤原氏ハ道長ノ子賴通、敎通相繼イデ關白トナリシガ敎通ハ恰モ天皇ノ時ニ當リテ只位ニ備ハレルノミ斯クテ藤原氏ノ勢始メテ衰フ延久元年(一七二九)始メテ記錄所ヲ置キテ諸家ノ莊園ヲ撿シ其券契ノ明ナラザルモノ及新ニ立テタルモノヲ廢ス天皇奢侈ヲ矯メ勤儉ヲ奬メ又學藝ニ通ジテ嘗ツテ新暦ヲ製シ玉ヘリ之ヲ宣旨桝ト云フ惜シイカナ、在位僅カニ四年ニシテ御讓位アリ幾バクモナクシテ崩ジ給フ天皇ノ親政ニ平カナラザリシ賴通サヘ其崩御ヲバ國家ノ不幸ナリトシテ悲ミタリ

(二) 德川家康ノ文敎奬勵ニ就テ記セヨ

〔解〕家康性周密治國ノ術ニ長ジ施設宜シキヲ得、京都ニ對シ奉リテハ織、豐二氏ノ如ク皇居ヲ造營シ供御ヲ獻上シ尊崇至ラザル所ナシサレド陰ニコレヲ抑制シ奉ル手段ニ出デ政治上ノ實權ハ悉ク其手ニ收メ所司代ヲ置キ警護ヲ嚴ニシ朝廷ノ上下ヲ通ジテ文學ト遊ビ導キ志ヲ詩歌管絃等ニ專ラニセシメ國政ニ干與スルヲ許サズ自然ノ間ニ政權ノ凡ヲ幕府ノ手中ニ收メタリ

(三) 左ニ就テ說明セヨ

(イ) 日本府

(ロ) 御朱印船

(ハ) 岩倉具視

(ニ) 日新公

(解)

(イ) 崇神天皇ノ御代ニ韓土ヨリ任那ノ使者來リテ將軍ノ派遣ヲ請ヘリ此頃任那ハ隣國ナル新羅ト爭ヒテ其國内安カラザリシカバ來リテ我ガ保護ヲ求メシナリ

朝廷乃チ將軍ヲ遣シテ之ヲ鎭メシメ給フ是朝士ニ日本府アルノ始ナリ、其後第廿九代欽明天皇ノ御代ニ新羅ハ百濟ヲ侵シテ其王ヲ殺シ又任那ヲ攻メテ之ヲ滅ボス(一二二二)、天皇其恢復ヲ計リ給ヘ共果サズ遺詔シテ必ズ其志ヲ繼ガシメ給フサレド其事行ハズシテ任那ノ日本府モ遂ニ絕エヌ

(ロ) 家康天下ノ權ヲ取リシ當時ポルトガル、イスパニアノ外オランダ、イギリスノ商船モ頻リニ入津シテ我國ト交易ヲ開始シ我商人モ又アマカオ、アンナン、シアム、ルソン、ジャバ等ノ各地ニ渡航シテ貿易ニ從事セリ是等ノ商船ハ何ヅレモ幕府ノ朱印アル免許狀ヲ得テ往來シタリシカバ之ヲ御朱印船ト稱ス

(ハ) 岩倉具視

明治四年十月外務卿岩倉具視ヲ特命全權大使トナシ參議木戸孝允、大藏卿大久保利通、工部大輔伊藤博文等ヲ副使トシ海外ヲ視察セシメ兼テ締盟諸國ニツキ條約改正ヲ議セシム、蓋シ幕末ニ結ビタル條約ハ法權、稅權共ニ我ニ不利ナル事多カリシカ故ナリ、此時大使ノ一行ハ到ル處ニ歡迎ヲ受ケシガ尙條約改正ノ熟議ヲ遂グルニ至ラザリキ、サレド具視等海外ノ形勢ヲ視察シテ歸リ我内治ノ整頓ニ裨益スル所少ナカラザリキ、具視等ノ歸朝セシ當時我國ニテ西鄕隆盛、板垣退助、後藤象次郎、江藤新平等議シテ朝鮮ニ問罪ノ師ヲ發セント主張シ居リシニ偶々大使一行歸朝シテ内治ノ急務ナルヲ述ベ征韓論ヲ斥ケシヨリ隆盛等ハ袖ヲ連ネテ退キヌ

(ニ) 日新公

天文ノ頃薩隅日ハ新納、伊東、肝付、北鄕、菱刈、澁谷、蒲生等ノ諸豪各地ニ割據シ其所領犬牙錯綜島津家ニ劣ラザル勢力ヲ有スル名門モアリ此門ニ於テ終ニ群雄ヲ制シ三州ヲ統一シ能ク島津家ノ覇權ヲ定メタルハ實ニ日新公ノ力ニ依ルナリ

而シテ公ノ勳業ノ非凡威嚮措ク能ハザルモノハ其威力能ク四方ヲ壓倒シタルノ

ミナラズ公ガ能ク政治ノ要義ヲ達観シ善政ヲ布キ子孫ヲ訓陶シテ數代ノ明君ヲ輩出セシメ彼所謂盛者必滅ノ理ヲ疑ハシムル迄ニ島津家ノ社稷ヲシテ常ニ繁昌セシメタル一事ニアリ乃創業ノ英雄トシテヨリハ寧ロ善後守成ノ明君ト云フベシ

明治四十三年五月(第十九回)施行

修身科

(一) 勇氣ト耐忍

〔解〕人世の事業は一として困難の伴はざるものなし然るに若し困難に對して勇氣と忍耐とを缺く時は何事をも成就すること能はざるべし何となれば勇氣なき時は其事業に從ふことを躊躇し忍耐なき時は折角決行したる事業を永續すること能はずして、終に何事も成功を見ること能はざるべし。その困難に對して或は氣を挫き或は心を變ずるを以て人に交はる時は他より厚き信用を受けて安らかに其身を處し得るのみならず之を薄志弱行といふ。薄志弱行は我等の最も恥づる所なり。若し之に遠ざからんと欲せば勇氣と忍耐との心を養ふに若くはなし

(二) 惟信惟義トハ如何ナルコトカ

〔解〕人間は正直が第一なり、凡て常に自己に對し誠實即信義を守らざるべからず平素誠己が心に一點疚しき事なきが故に幸福に世に處し得べきなり而して人の身分地位に貴賤上下の別あれども人たる點に於ては自他平等にして彼我の別なきにより社會の爲盡すべきなり、古語に『神は正直の頭に宿る』とは卽此謂にして自己を益し且又社會を益するを得るなり

(三) 多人數集合の場合に於ける心得

〔解〕自己のみの都合を考へず夫々相當の作法あるを以て夫を能く守り會の秩序を保つと共に彼我の紛爭、衝突を避けしめ相互の交情を圓滿ならしむる樣心掛くるを要す要するに自他の感觸を傷けず互にその名譽を重んじて相敬愛するの心を表はすにあり此の場合に若し相互に禮讓卽公德心を缺ぐときは譬ひ好意を以て善良の事を行ふも人はその擧動を誤認して感觸を害することあるべし故に萬事他人の迷惑にならぬ樣

心掛くる事肝要なり

教育科

(一)

次ノ教授案ヲ作レ

カゼニクルクルカザグルマ（尋常小學讀本卷一）

(解)　教材　カゼニクルクルカザグルマ（文部省尋常小學讀本一頁）

要項　内容上風車ノ構造及廻轉ニ關スル簡單ナル理由ヲ授ケ併セテ自然界ノ現象ニツキ美的感想ヲ味ハシメ

形式上　『ゼ』ノ發音及文字ノ讀ミ方書キ方

(一)　豫備　語ノ倒置、語ノ省略セラレタル七五調韻文ノ組立

教具　掛圖及風車ノ實物

教法

(一)　風車ノ實物ヲ示シテ問答シ其構造及廻轉ノ理由ニツキ簡單ナル理科ノ基本的觀念ヲ整理ス

(二)　『カザグルマ』ノ發音練習、音ニ分解セシメテ既習文字ヲ塡充セシム

(三)　『ゼ』ノ發音練習、『ゼ』ノ字ヲ提示シテ其讀ミ方、書キ方ヲ授ク『セ』トノ比較

(四)　掛圖ノ有樣ニツキテ問答シテ『今日ハコノ風車ノ廻ハル美シキ有樣ヲ書キ表ハシタル歌ヲ授ケン』ト目的ノ指示ヲナス

(五)　全文ノ聽寫、教師ノ板書シタルモノニヨク讀ミ合セヲナシテ各自ノ訂正ヲナサシム

(六)　各唱齊唱ニヨリ通讀數回大意ノ問答

(七)　語法教授

(1)　文ノ分解　カゼ　ニ　クルクル　カザグルマ

(2)　『何ガマハルトイフコトカ』『風車ハドンナ樣ニ』『何ノタメニ』等ノ問答ニヨリ順次ニ次ギノ如ク板書ス

カザグルマ　ガ　カゼノタメ　ニ　クルクル　ト　マワリマス

(『ハ』ハ未習文字ニナルガ故ニ便宜○ヲ以テ音ヲ塡ム)

口解　答之部

(八)　本文及釋文ノ朗讀數回

(九)　掛圖ノ繪ヲ視察セシメツツ、繪ノ模樣ヲ童話的ニ形容シ談話シ兒童ヲシテ恰モ繪中ノ人物トナラシメテ美的情趣ヲ感得セシム

(一)　教科書ニツキ朗讀ノ練習ヲナス、教師ノ範讀數回兒童ノ朗讀十數回

(二)　教科書ニツキ全文ヲ視寫セシム

(三)　教科書ヲ離レテ數回暗誦セシム全文ヲ暗書セシム

(三)　口語ニ解釋シテ數回話サシム教科書ニツキ朗讀數回

(二)　算術教授ノ要旨

〔解〕算術ハ日常ノ計算ニ習熟セシメ生活上必須ナル知識を與へ兼ねて思考を精確ならしむるを以て要旨とす。尋常小學校ニ於テハ初ハ十以下ノ數ノ範圍内ニ於ケル數ヘ方書キ方及加減乘除ヲ授ケ漸ク其範圍ヲ擴メテ百以下ノ數ニ及ボシ更ニ進ミテ通常ノ加減乘除竝ニ小數、諸等數及簡易ナル分數歩合算を授く、而シテ教授ニ當リテハ理解ヲ精確ニシ運算ニ習熟シテ應用自在ナラシメンコトヲ務メ又運算ノ方法及理由ヲ正確ニ說明セシメ且暗算ニ習熟セシメンコトヲ要ス、重ナル注意スベキ點ハ左ノ如シ

(一)　問題ハ他ノ教科目ニ於テ授ケタル事項及土地ノ情況ヲ斟酌シテ日常適切ナルモノヲ選ブコト

(二)　諳算又ハ口唱問題ハ明瞭ニ唯一回唱フルノミニテ決シテ其問題ヲ反覆シ又ハ兒童ノ反問ヲ許スベカラザルコト

(三)　問題ノ中ニハ練習ヲ主トスルモノト理解ヲ主トスルモノトアリ前者ニアリテハ務メテ迅速ニ且ツ精確ニ運算スル習慣ヲ養ヒ後者ニアリテハ十分ニ其算法ヲ理解セシメ且正確ニ之ヲ說明セシムベシ

(四)　新ニ算法ヲ授ケタルトキハ、十分之ヲ練習シ應用自在ナラシメタル後ニアラザレバ次ノ算法ニ移ルベカラザルコト

(五)　度量衡ノ制度ヲ授クルトキハ必ズ實物ニ就キテ其觀念ヲ正確ナラシムベキコト

國語科

講讀

(一) 解釋

(イ)(ロ)(ハ) 國家の隆盛と人民の幸福を增進せん事を望む
我國の米は品質殊に優等なればひろく世の人の嗜好に適す
ナポレオンの運命はこの意外なる敗亡によりて全く一轉し諸外國は更に聯合シテフランスにせまれり

〔解〕

(イ) 國家即社會ノ凡てが秩序正シク萬事整頓サレ凡テノ事業益々擴張サレ基礎正シキ發達ヲナシ夫ニ從ッテ各人民ノ個人個人ガ獨立シテ社會ニ立チテ敢テ人ヲ煩ハズト云フ工合ニ此ノ世ノ中ヲ發達サセタイモノデアル

(ロ) 我日本國ニ產スル米ハ其タチガ他國ニ產スル者ヨリモ一等優レテ居ルカラヒロク世ノ人々ノ好ミニカナッテ居ル

(ハ) ナポレオンノ境遇ハコノ思掛ケナキ敗戰ノ爲メ凡テガ全ク反對シ事ト意ト互ヒニ各國聯合シテ益々フランス國ヲ攻メ立テタリ

(二) 讀方

諸外國ハ好期會（センコクガッシ）トシテ其上

印刷（インサツ）。宣告（センコク）。知己（チキ）。準備（ジュンビ）。手加減（テカゲン）。

〔解〕印刷（インサツ）。宣告（センコク）。知己（チキ）。準備（ジュンビ）。手加減（テカゲン）。

(三) 書取

デンキ。ギシキ。サイサン。ケンリ。ドクリツ。

〔解〕電氣。儀式。再三。權利。獨立。

算術科

(1) (イ) $\frac{4\frac{1}{4}\times 3\frac{1}{8}\times 1\frac{3}{5}}{4\frac{1}{5}-2\frac{1}{8}}=\frac{21\frac{1}{4}}{2\frac{1}{8}}=\frac{85}{4}\times\frac{8}{17}=10$

ロ　54.7369÷8.34=6.5631　剩餘0.001480

(2) 甲乙相距ル32里甲ハ一日ニ8里宛行ク甲ガ乙ヲ追ヒ行クトキハ甲ガ

□解答之部

乙ニ追ヒツクニハ幾日ヲ要スルカ

〔解〕 12里—8里＝4里……甲ガ一日ニ乙ニ追付ク里数

依テ 32里÷4里＝8……即8日ニシテ乙ニ追付ク

(3) 或人所持ノ田地ヲ三人ノ男子ニ配分シ三男ニハ12町5畝歩次男ニハ全体ノ$\frac{2}{8}$又長男ニハ全体ノ半分ヲ與ヘタリト云フ長男ノ貰ヒシ反別幾何ナルカ

〔解〕

$\frac{3}{8}+\frac{1}{2}=\frac{7}{8}$次男ト長男ノ貰ヒシ割合ノ和

$1-\frac{7}{8}=\frac{1}{8}$三男ノ貰ヒシ分ニ相當ス

依テ全体ハ

12町5反$\div\frac{1}{8}$＝100町歩

從ツテ長男ノ所得ハ

100町$\times\frac{1}{2}=\underline{\underline{50町}}$……答

(4) 米價一石ニ付拾貳圓五十錢ナリシガ其後一石ニ付五十錢騰貴ヒリト云フ幾割方騰貴セシカ

〔解〕 50錢÷12圓50錢＝0.04 即四分ノ騰貴

(5) 或工女ガ毎日拾時間宛働キテ六日間ニ織リ上ゲル織物ヲ五日間ニ織リ上グルニハ毎日幾時間ヅヅ働カザルベカラズカ

〔解〕 10時×6＝60時間……10時間宛六日間ニ働ク時間数

60時間÷5＝12時間……即毎日十二時間宛働ケバヨシ

(6) 1升六十錢ノ酒ト一升五十錢ノ酒トヲ或割合ニ混合シテ一升五十四錢ノ酒二斗ヲ作ルニハ原ノ酒各幾何ヲ要スルカ

〔解〕

		益	損	割合	
54錢	60錢		6錢	4	4＋6＝10
	50錢	4錢		6	

依テ 20升$\times\frac{4}{10}$＝8升……60錢ノ酒

20升$\times\frac{6}{10}$＝12升……50錢ノ酒

即上等八升ト下等1斗2升

珠算

(1) 口唱速算

(イ) 315＋263＋453＋604＋768＋876＋103＋555＋719＝4656

(ロ) 395錢＋400錢＋292錢＋527錢＋289錢＋521錢＋876錢＋234錢＝3534錢

(2) 471×36

3105×728

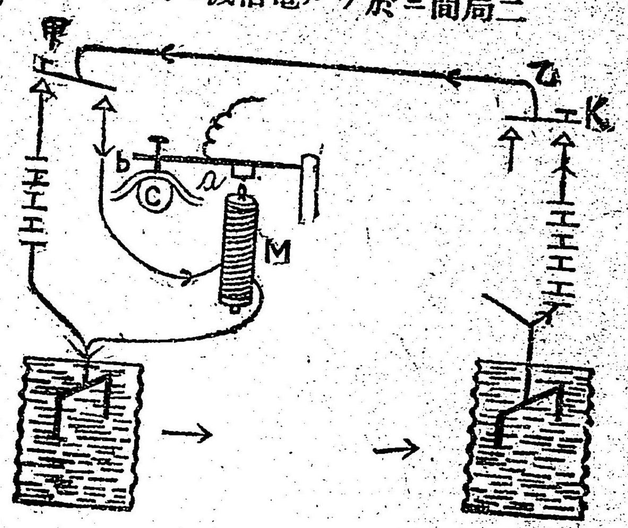
(3) 59996÷32—8544÷89

(4) 639×27÷73

理科

(一) 電信機ノ構造及ビ作用ヲ圖解セヨ

〔解〕電信機ノ作用ハ、土圖ノ如ク乙局ノ發信器ヲ押シテ電流ヲ通ズレバ甲局ノ受信器ノ電



磁石Mハ、渡aヲ引キ附ケ其一端ニアル針Bヲシテ圓筒Cノ上ニ働キツツアル紙上ニ信號ヲ印セシムルナリ。但電流截ルトキハ渡シハ『バネ』ニ依リテ引キ上ゲラルルヲ以テ針端ハ紙ヲ離ル、故ニ發信者ノ意ニ應ジテ長短種々ノ記號ヲ紙上ニ表ハシ得外線ニハ鐵ヲ用ヒ且ツ輸道ノ一部分ニ地ヲ利用ス

(二) 銅ノ性質及ビ用途ヲ記述セヨ

〔解〕

(イ) 銅ハ赤色ノ金屬ニシテ其新ニ磨キタル面ハ美シクシテ色澤ヲ呈ス、ソノ質丈夫ニシテ板、箔、針金トナシ又鎚ニテ打チテ種々ノ形ニナスヲ得ベシ、サレド鑄物ト

ナスニ適セズ、銅ハ空氣ニ觸ルレバ久シカラズシテ其光澤ヲ失ヒ暗赤色トナルコレ銅ノ酸素ト化合シテ其表面ニ甚ダ薄キ銹ヲ生ズルニヨル。銅ヲ濕リタル所ニ置ケバ次第ニ綠色ノ厚キ銹ヲ生ズ、コレ綠青ト稱シ有毒ノモノナレバ銅鍋類ノ内面ニハ錫ヲ塗リテ此ノ銹ノ生ズルヲ防グ

(ロ) 用途　銅ノ針金ハ電話、電燈等ノ針金トシテ多ク用ヒラレ銅ノ板ハ種々ノ器物ヲ造ルニ用ヒラル

博物科

(一) 種子ノ構造ヲ圖解セヨ

〔解〕一植物毎ニ其形狀ハ異レドモ一般性ニ就テ言ヘバ表皮アリテ中ニ二枚ノ厚キ子葉アリテ其相連ル所ニ小サキ莖アリテ其下部ニ若キ根アリ。莖ノ上端ニハ甚ダ小サキ若葉アリテ子葉ノ間ニ挾マル。種子ハ水分ニ乏シクシテ其質硬ク永ク間ヨリノ生活力ヲ保存シ得ルモナリ、左ニいんげん豆ニ就テ記セン

(二) たまじやくしニツキテ知レル所ヲ記セ

〔解〕蛙ノ卵日ヲ經ルニ隨ヒ日光ニ溫メラレテ發育シ稍々長クナリテ頭ト尾トノ別ヲ生ジ更ニ頭ノ兩側ヨリハ鰓ヲ生ジ尾ノ漸ク長クナル頃卵塊ヲ離レテ水中ニ出ヅ。後體ハ益々大キクナリ鰓ハ隱レ尾ハ一層扁クナリテ自由ニ水中ヲ游泳ス之ヲ『たまじやくし』ト稱ス

夏ノ始ニナレバ前後ノ脚ヲ生ジ尾ハ次第ニ消エ失セ小サキ蛙トナリテ陸上ニ上ル

(三) 五官器ヲ列擧セヨ

〔解〕視覺、聽覺、嗅覺、味覺及觸覺ヲ司ル機關ヲ云フ即目、耳、鼻、舌、全身ノ皮膚及粘膜ヲ云フ

地理科

口解答之部

(一) 日本ニ於テ夏ハ南風多ク冬ハ北風多キハ何故ナルカ

〔解〕我國ハ一方ニアジア大陸ヲ控エ他方ハ太平洋ニ臨メルヲ以テ季候風ノ流行區ニ屬シ夏季ニハ南又ハ東南ノ風ヲ受ケ冬季ニハ西又ハ西北方風ヲ受クルナリ

(二) 我國要塞地ヲ列擧セヨ

東京灣、舞鶴、由良、藝豫、廣島灣、下關、佐世保、長崎、對馬、基隆、澎湖島、函館外ニ鎮海灣、永興灣アリ、

(二) 左ノ名詞ヲ簡單ニ說明セヨ

釜石、潮岬、鎮海灣、營口、小豆島、

〔解〕(イ) 釜石 岩手縣ノ東南海岸ニアリテ我國第一ノ鐵山ナリ

(ロ) 潮岬 和歌山縣ノ南海岸ニ突出セル岬ニシテ潮岬近海ハ航海者ノ警ムル所ナリ、又本邦最多雨ノ地ニシテ且又氣温附近ノ地ヨリモ高シ。樒樹近傍ニ茂ル。

(ハ) 鎮海灣 京釜線ヨリ分レタル馬山線ノ終點ナル馬山ノ近傍ニシテ要塞ヲ設ケアリ又岬ニハ近時無線電信局設置セラル。

(ニ) 營口 支那遼河ノ口ニアル開港場ナリ上流地方ヨリ來レル豆頭豆油豆粕等ノ輸出盛ニシテ豆類、豆粕ハ主トシテ我國ニ來ル

(ホ) 小豆島 香川縣ノ高松市ノ前面ノ海上ニアリ、日本内海ノ大島ニシテ素麵、醬油及花崗岩ノ產出甚多ク風景ヲ以テ名高キ寒霞溪アリ

歷史科

(一) 大化新政ノ大要ヲ述ベヨ

〔解〕皇極天皇ノ御代ニ蘇我蝦夷大臣タリシガ其子入鹿自ラ國政ヲ執リテ愈兇惡ヲ極メ天威ヲモ憚ラズ遂ニハ聖德太子ノ御子孫ヲモ滅スニ至ル、蘇我氏ノ專橫カクノ如ク甚ダシクナリシカバ中臣鎌足之ヲ見テ大ニ憤リ、之ヲ除キテ政治ヲ改革セント志シ遂ニ中大兄皇子ヲ奉ジテ蝦夷、入鹿ノ二人ヲ誅セリ、皇子ハ舒明天皇ノ御子ニシテ御ハ皇極天皇ニマシマス、是ニ於テ孝德天皇即位シ給ヒ中大兄皇子ハ皇太子トシテ天皇ヲ輔給ヘリ此ノ時支那ノ制ニ倣ヒ始メテ年號ヲ大化ト定メ給フ是實ニ紀元一千三

口解答之部

百五年ノ事ナリ次デ大ニ政治上ノ改革ヲ斷行シ給フ世ニ之ヲ大化ノ改新ト云フ

(二) 日清戰爭ノ原因ヲ記セ

〔解〕朝鮮トハ曩ニ我國ト修好條約ヲ結ビシヨリ彼我ノ關係次第ニ親密ニ赴キシガ彼ノ國民ノ中ニハ往々我眞意ヲ解セズシテ動モスレバ我ヲ排斥セントスルモノアリ、遂ニ明治十五年及十七年ニ於ケル京城ノ變亂ヲ見ルニ至レリ、併シテ事變後獨立黨ノ志士多クハ國ヲ去リ政權全ク事大黨ノ手ニ歸セシカバ清國ノ朝鮮ニ於ケル勢威益加ハリヌ、カクテ明治二十七年ニ至リ朝鮮ニ東學黨ノ起ルヤ清國ハ兵ヲ朝鮮ニ出シ亂民ヲ平定シテ屬邦トナサント企テタリ、我國ハ公使大鳥圭介ヲシテ急行シテ任ニ赴カシメ且一旅團ノ兵ヲ送リ清國ニ先タチテ京城ニ入ラシメ以テ我公使館及居留民ヲ保護シ更ニ清國ニ勸ムルニ東洋全局ノ平和ヲ維持センタメ相協同シテ朝鮮ノ內政改良ヲ助ケンコトヲ以テセリ、然ルニ清國應ゼズ我ニ向ッテ撤兵ヲ要求シ自國ヨリハ益々兵ヲ朝鮮ニ出シ其軍艦ハ豐島沖ニ於テ我ガ軍艦ヲ砲撃シカヘリテ我ノ破ル所トナレリ、時ニ京城ナル我陸軍ハ朝鮮王ノ依賴ヲ受ケ牙山ノ清兵ヲ擊チテ之ヲ逐ヒヌ之レ該戰爭ノ原因ナリ

(三) 左ノ人々ニ就テ知レル所ヲ示セ

林信篤、弓月王、太安麿、ハルリス、行基、

〔解〕

(イ) 林信篤 德川五代將軍綱吉ハ殊ニ學ヲ好ミ昌平校ヲ江戸ノ湯島ニ興シ朝廷ニ請ヒテ林信勝(羅山)ノ孫信篤春常ヲ大學頭ニ任ジ自ラモ他ノ學者ト共ニ儒書ヲ講ジテ之ヲ奬勵シケレバ文運益々振ヘリ幕府ノ學政是ヨリ林家ノ手ニ歸セリ

(ロ) 弓月王 應神天皇ノ御代ニ弓月王トオフモノ率ヒテ歸化ス、ソノ民養蠶機織ニ巧ニ仁德天皇ノ御代勅ニヨリテ諸國ニ分レ住ミ秦氏ヲ名ノリテノ業ニ從ヒタリ、雄略天皇ノ御代諸國ニ分散セル秦氏ヲ集メ弓月王ノ孫酒ノ君ヲソノ長トシテ絹ヲ織ラシメ給フ

(ハ) 太安麿 天武天皇ノ御代ニ稗田阿禮ニ命ジ神以代傳聞セル古事ヲ誦セシメ元明天皇ノ和銅五年(一三七二)太安麿ニ勅シテ之ヲ筆記セシム即古事記ニシテ我國最古ノ史籍ナリ(內容ハ神代ヨリ推古天皇迄)

(ニ) ハルリス 安政三年(一八五六)米國ノ總領事ハルリス下田ニ來リテ翌年請ヒテ江戸ニ入リ將軍ニ謁シテ國書ヲ呈シ更ニ幕府ノ委員ト通商條約ヲ議定シタリ幕府ハ世論ヲ憚リテ勅許ヲ仰ギ奉リ老中堀田正篤自ラ上京シテ懇請セシカド鎖國攘夷ノ說朝廷ヲ動カシ折ナリシカバ正篤モ手ヲ空シクシテ江戸ニ歸レリ之ヨリ物議騷然タリ

(ホ) 行基 聖武天皇ノ御代ハ佛敎盛ニナリ僧尼ノ地位甚ダ貴クナレルマヽニ名僧多ク出デ支那印度ヨリ渡來セル高僧モアリキ就中上下ノ尊信深カリシ僧行基ハ 聖武天皇ノ信任ヲ蒙ルコト厚ク東大寺ノ大佛鑄造ノ事ニ盡力シ又諸國ヲ巡リテ道路ヲ通ジ池溝ヲ開クナド公益ヲ圖ルコトモ多カリキサレバ時人之ヲ尊ビテ行基菩薩ト云ヘリ

明治四十二年十月(第十八回)施行

修身科

(一) 忠良ノ臣民トハ如何

〔解〕上來 今上天皇陛下ノ訓示シ給ヒシ御趣旨ヲ服膺シ之ヲ實踐躬行スル者ハ啻ニ皇室國家ニ對シテ誠忠善良ノ臣民タルノミナラズ人ニシテ誠忠善良ノ臣民タルノ本分ヲ遂グル能ハザル時ハ其君ヲ危クシ其國ヲ殘ヒ其身モ亦隨ヲ亡ビザルヲ得ザルハ固ヨリ自然ノ數ナリ臣民タルモノハ 叡慮ノ深大ナルヲ拜シ感泣シテ之ヲ奉體セザル可ラザランヤ

(二) 市町村ニ對スル心得

〔解〕吾々ガ住居スル所ノ市若クハ町村ハ自治ノ團體ナルバ之ニ對シテハ吾人ハ其同一致シテ萬事ヲ處理シソノ便利ヲ圖リソノ圓滿ナル發達ヲ遂グル樣ニセザルベカラズ然ルニ世人往々自治制ノ性質ヲ知ラズシテソノ規則ヲ輕ンジ納稅ヲ避ケ選擧ヲ怠ルモ

□解　答之部

ノナリ是レ全ク吾人共同ノ本旨ヲ了解セザルモノニシテ實ニ團體ニ對スル忠實ノ務ヲ缺クモノト云ハザル可ラズ

(三)　自己ノ生命ニ對スル心得

〔解〕人ハ自己ニ對スル心得トシテ身体ノ健全ヲ保タザルベカラズ、身体ニシテ健全ナラザレバ如何ナル事業ニテモ成シ遂グルコト能ハザルベク從ツテ一身一家ノ幸福ヲ得ル能ハザルハ勿論國家ノ強弱ニモ關係スベシ。人此ノ天地間ニ生レタル以上ハ一國一家一身ノ爲ノミニアラズ世界人類ノ爲ニモ其生命ヲ重ジ兼テ生命ヲ保ツニ必要ナル飲食ヲ節制シ適度ニ食シ適度ノ運動ヲ保チ新鮮ナル空氣ヲ呼吸シ又、身ノ清潔ヲ保チ且又適度ノ休息ト睡眠トヲ保ツ健全ナル身体ヲ保ツヲ要ス

西諺ニ『健全ナル精神ハ健全ナル身体ニ宿ル』ト此ノ言ヲ服膺シテ其健全ヲ祈リ猥リニ傷ケザル樣心掛ケ一旦緩急ノ場合、君ノ爲國家ノ爲或ハ眞理ノ爲ニハ一身ヲ潔ギヨクナゲウツ樣心掛クベシ、斯クノ如キハ人トシテ大ニ稱揚スベキ事ト云フベシ

教育科

(一)　問答法ヲ述ベヨ

〔解〕教師問ヲ發シ兒童之ニ答フルモノニテ小學校ノ教授ニ於テ適用ノ範圍極メテ廣ク其利益甚ダ大ナルモノナリ併シテ左ノ注意ヲ要ス

發問ニツキテハ

(一)　先ヅ全級兒童ニ向ヒテ問ヲ發シ適當ノ猶豫時間ヲ與ヘ然ル後一兒童ヲ呼ビテ答ヘシム

名指サレタル兒童ノ答ガ正シカラザルトキハ他ノ兒童ヲシテ修正セシム

(二)　代ル〳〵總テノ兒童ヲシテ答辨セシメ一隅或ハ二三ノ兒童ニノミ偏スベカラズ然レドモ又一一席順ニ從ヒテ指名スルハ惡シ

(三)　發問ハ兒童ノ力ニ相應スベシ、全級兒童ノ答フルコト能ハザルカ又ハ答ノ誤レル時ハ其發問ノ不適當ナルモノナレバ更ニ發問ノ形ヲ變ジ又ハ之ヲ分チテ數個ノ問トナス

(四)　發問ハ簡單ニシテ理解シ易ク其範圍明瞭ナルベシ一問ニ對シテ答多樣ナルハ發問ノ範圍廣キニ失シタルモノナルニヨリ訂正ヲ要ス

□解　答之部

(五)　發問ヲ繰返スハ却ツテ兒童ノ不注意ヲ招キ敎授ヲ亂スノ恐アリ又問ノ中ニ答意ヲ含ミ若クハ答ヲ諳示スルハ兒童ノ依賴心ヲ起サシムル弊アリ

敎師ノ問ニ對スル兒童ノ答ヲ處置スルトハ左ノ諸項ニ注意スルヲ要ス

(一)　兒童ノ答ノ正シキ時又ハ其誤ノ明カナル場合ニハ敎師直チニ之ヲ可決シ又ハ否決スベシ敎可ヲ用フ

(二)　答ガ正シカラザルモ幾分カ採ルベキ部分アラバ多少ノ助言ヲ與ヘテ之ヲ補充訂正セシム此際全級兒童ヲシテ修正セシメ其正否ヲ判定セシムルコトアリ即決ヲ用フ級決ノ後ニハ多ク敎可ヲ用フ

(三)　答ノ正シカラザルハ多クハ兒童ノ不注意ナルカ敎授ノ不行屆カ又ハ發問ノ不適當ナルニヨルモノナレバ妄リニ之ヲ叱責シ嘲笑スルガ如キコトナクヨク其原因ヲ考ヘ適應ノ處置ヲナスヲ要ス

(二)　國語敎授ノ要點ヲ問フ

(解)　國語ハ普通ノ言語、日常須知ノ文字及文章ヲ知ラシメ正確ニ思想ヲ表彰スルノ能ヲ養ヒ兼テ知識ヲ啓發スルヲ以テ要旨トス然シテ尋常小學校ニ於テハ初ハ發音ヲ正シ

假名ノ讀ミ方、書キ方、綴リ方ヲ知ラシメ漸ク進ミテハ日常須知ノ文字及普通文ニ及ボシ又言語ヲ練習セシム

前述ノ要旨ヲ分解スレバ

(一)　普通ノ言語ヲ知ラシムルコト

(二)　日常須知ノ文字及文章ヲ知ラシムルコト

(三)　正確ニ思想ヲ表彰スルノ能ヲ養フコト

(四)　本科ニヨリテ兒童ノ智德ヲ啓發スルコト

ノ四點トナルベシ第一要點ヲ達センニハ言語ヲ授ケ且之ヲ話サシムルノ必要アルガ故ニ話シ方ニ注意シ第二ノ要旨ヲ達センニハ文字文章ヲ讀マシメ茲ニ之ヲ書カシムルコトヲ要スルガ故ニ讀ミ方書キ方ヲ授ケザルベカラズ第三ノ思想ノ表出ハ言語茲ニ文字文章ノ二途ニツキテ練習セザルベカラザレバ綴リ方及話シ方ノ敎授ヲ必要トス而シテ第四ノ要點ハ以上ノ諸項ヲ適當ニ行フコトニヨリテ之ヲ遂グルコトヲ得ベシ

サレバ國語科敎授ノ要旨ヲ達センニハ讀ミ方、綴リ方、書キ方ヲ課シ話シ方ニ注意シ

茲ニ智徳啓發ニ心ヲ用ヒザルベカラズ而シテ之ヲ課スルニ方リテハ施行規則ニ『讀ミ方、書キ方、綴リ方ハ各其主トスル所ニヨリ教授時間ヲ區別スルコトヲ得ルモ特ニ注意シテ相聯絡セシメンコトヲ要ス』ト規定セラレタルガ如ク出來得ルダケ聯絡關係セシメ互ニ相依リ相助ケテ以テ圓滿ニ國語教授ノ要旨ヲ達センコトヲ要ス

(三)　尋常科第二學年ニ四ノ掛算九々ヲ授クル一時間分ノ教案ヲ作レ

〔解〕　教材　四ナル數ノ計算(兒童ノ已ニ知レル猫犬等ノ事實ニ連絡ヲ採ル)

要旨　四トイフ數ヲ分解總合シテ其觀念茲ニ既ニ授ケタル數トノ關係ヲ明ニス

(一)　豫備

已ニ知リ得タル犬、猫等ニ就テ觀念ヲ呼ビ起シ前足二本、後足二本合シテ四本等ヨリ問答シテ教授ニ入ル

(二)　教授

(イ)　猫又ハ犬ノ足數ニツキテ一本ヨリ六本マデ順計セシメ其四本ノ中ヨリ順次一本ヅヽ取リ去リ二本、一本、一本ノ如ク逆計セシム

(ロ)　次ニ猫ノ足ト同數ノ竹箸ヲ取リ問答シテ左ノ如ク計算セシメ

4−1=3　4−2=2　4−3=1　4−4=0

3+△=4　2+△=4　1+△=4　0+△=4

(ハ)　猫ノ足ハ右左又ハ前後幾本ヅツアルカ凡テ幾本アルカ

(ニ)　計數器其他種々ノ物ニヨリテ左ノ計算ヲ練習セシメ如何ナル場合又ハ如何ナル事物ニツキテ計算スルモ常ニ同一ナルコトヲ知ラシム

4−1=3　3+1=4

4−2=2　2+2=4

4−3=1　1+3=4

1×4=4　4÷1=4

2×2=4　4÷2=2

(ホ)　無名數ニテ前項ノ如ク取扱ハシメ四ニ關スル觀念ヲ明カニスベシ

(三)　應用

紙二枚アル所ヘ二枚貰ヒタラバ幾枚ニナルカ其内二枚使ハバ幾枚殘ルカ等ノ如キ實用問題ヲ出シ六ナル數ノ運用ヲ自在ナラシムベシ

國語科

講讀

(一) 解釋

(イ) 一旦緩急あれば一命を鴻毛の輕きに比す

〔解〕吾々人民即ち人として義を重んじ勇を尚ふの氣は養ふべき德にして一國の人民たる者は其地位職業の何たるに係はらず其君のため一國の人民のため生命を鴻毛即ち何より輕く擲ち以て之が福祉を保護するのである

(ロ) 名も高き鍛工つき〳〵に出でて燒太刀の技巧世界に比なし

〔解〕名高き鍛治が代々に出でて刀造りの技の巧みなることは世界に比ぶる樣な所がない(燒太刀=刀ノ先キヲ燒キテ益々銳利ナラシメタル者即銳利ナル刀)

(二) 左ノ文ヲ口語文ニ改メヨ

眞友ハ爾ノ心ト交ルモノニシテ爾ノ形ニ交ルニアラズ心ハ神物ナリ財貨權力ハ形物ナリ爾ノ心ハ爾ト一生俱ニアリ爾ノ財貨權力ハ虛浮ノ物ナリ時ニ來リ時ニ去リ或ハアリ或ハナシ

〔解〕

眞ノ友ハアナタガタノ心ト交ルモノデアツテアナタガタノ身形ト交ルモノデハナイ。心ハ神ノ物デアツテ財產ダノ權力ナド云フ者ハ形ノ物デアル。

アナタガタノ心ハ如何ナル事ガアロートモアナタガタト一生一所ニアリマスガ財產ヤ權力ナド云フ物ハ丁度浮ベル雲ノ樣ナモノデアル時ハ非常ニ貨モアリ權力モアルガ又或時ハ前ニ比ベテ少シノ財モナクナルモノデアル

(三) 音ト訓トノ別ヲ記セ

〔解〕假令ハ

人ヲ『ニン』ト讀ムハ音ニシテ人ヲ『ヒト』ト讀ム如キヲ訓ト云フ

音	訓	音	訓
戒(カイ)	戒(イマシメ)	音(オン)	音(オト)
山(サン)	山(ヤマ)	都(ト)	都(ミヤコ)

口解 答之部

或ハ爾ノ心ハ爾ト一生倶ニアル爾ノ財貨権力ハ虚浮ノ物ナリ時ニ来リ時ニ去リ或ハアリ或ハナシ

〔解〕

真ノ友ハアナタガタノ心ト交ルモノデアツテ財産ダノ権力ナド云フ者ハ形ノ物デアル。心ハアナタガタノ心ハ如何ナル事ガアロートモアナタガタト一生一所ニアリマスガ財産ヤ権力ナド云フ物ハ丁度浮ベル雲ノ様ナモノデアルト時ハ非常ニ貨モアリ権力モアル又或時ハ前ニ比ベテ少シノ財モナクナルモノデアル時ハ非常ニ貧シクナルト云フ如キ訓ト云フ音ト訓トノ別ヲ記セ

〔三〕

〔解〕假令ハ

人ヲ『ニン』ト讀ムハ音ニシテ人ヲ『ヒト』ト讀ム如キヲ訓ト云フ

音	訓
戒(カイ)	山戒(イマシメ)
山(サン)	山(ヤマ)
音(オン)	音(オト)
都(ト)	都(ミヤコ)

口述答之部

風(フク)	風(クリ)	扁(クン)	扁(オシフク)
鶴(カク)	鶴(ツル)	三(サン)	三(カワ)

筆答之部

(1) 鶴龜合セテ百頭其足數三百七十本ナル時ハ各ノ頭數如何

〔解〕 2本×100＝200本……全体ヲ鶴ト見做シタルトキノ足數

370本—200本＝170本……鶴ト見タメノ誤差

4本—2本＝2本……之ダケ宛小ナク見タル爲ニ170本ノ差ヲ生シタルニヨリ之數

ダケ

170本÷2本＝85(頭)……龜ヲ入ルレバヨシ

依テ鶴ハ 100頭—85頭＝15頭

(2) 37間平方＝1369平方間

(7812平方尺＋72平方尺)＝219平方間

1平方間ハ1坪ナルヨリ(1369＋219＋4645)坪＝6233坪

(3) 次ノ分數ヲ簡單ニセヨ

(イ) $\dfrac{(5\frac{1}{5}\times 3\frac{1}{8})\div 2\frac{3}{5}}{3\frac{1}{8}+5\frac{1}{5}+2\frac{3}{5}}=\dfrac{\frac{26}{5}\times\frac{25}{8}\times\frac{5}{13}}{\frac{25}{8}+\frac{26}{5}+\frac{13}{5}}=\dfrac{\frac{25}{4}}{\frac{229}{40}}$

$=\frac{25}{4}\div\frac{229}{40}=\frac{25}{4}+\frac{40}{229}=\frac{250}{229}=1\frac{21}{229}$

(ロ) $\dfrac{2}{6+\frac{1}{9}}=2\div\frac{55}{9}=2\times\frac{9}{55}=\frac{18}{55}$

(4) 或人所持金ノ三分ノ一ト五分ノ二ト八分ノ二トヲ費シタル跡ニ尚ホ百拾圓殘リ居レリト云フ此人最初幾何金ヲ所持セシカ

〔解〕 $\frac{1}{3}+\frac{2}{5}+\frac{2}{8}=\frac{118}{120}$……三回分費高ノ割合ノ和

$1-\frac{118}{120}=\frac{2}{120}$……殘高ニシテ拾圓ニ當ル

故ニ

$10圓\div\frac{2}{120}=10\times\frac{120}{2}=600圓$……所要ノ答

口述終之部

口解答之部

珠算

(1) (イ) 538＋429＝1067

(ロ) 25.2×66＝1663.2

(ハ) 199.6間÷7間＝28.51ト餘リ0.04間

(2) 速算(口唱)

15圓67錢， 4圓30錢， 22錢， 24圓93錢， 19圓99錢， 37錢， 1圓39錢， 合計ヲ求ムル答＝66圓87錢

理科

(一) 音色ノ理ヲ說明セヨ

〔解〕音色

高低強弱相等シクトモ笛ノ音ハ琴ノ音ト異リ此相異ヲ音色トイフ

(二) 酸アルカリ及鹽ヲ各二ツ宛擧ゲヨ

〔解〕

○酸

(二)(一) 硫酸 ハ無色若シクハ褐色ノ粘キ液体ナリ

鹽酸 純粹ノ均酸ハ無色ノ液ナレドモ普通ノ均酸ハ不純物ヲ含ムガ爲ニ黃色ヲ帶ブ

硝酸 常トス濃厚ナル均酸ハ其表面ヨリ惡息アル白キ煙ヲ出ス

一般性 青色ノリトマス試驗紙ヲ浸ス時ハ赤變スヲ酸性ノ反應トイフ酸性ノ反應ヲ呈スル液ハ通常酸味ヲ有ス

○アルカリ 石灰，苛性ソーダ及アレモニヤ等ヲイフ

(二)(一) 石灰石，殼ナドヲ燒ク時ハ炭酸ガスヲ放チテ白塊ヲ留ム

苛性曹達ハ食鹽ヨリ造ラルモノニシテ通常白色ノ塊ヲ爲シ水ニ容ク

一般性 ヨノ上液ニ赤色ノリトマス試驗紙ヲ浸セバ直チニ靑變シ之ヲ嘗ムレバ一種ノ味アリ

○鹽類 中和，アルカリ類ト酸類トヲ適度ニ加ヘ靑色及赤色ノ「リトマス」ノ試驗紙ノ何レヲ浸スモ色變セザル液ヲ生ズ之ヲ鹽基トイフ

口解答之部

(一) 食鹽 苛性曹達ト鹽酸

(二) 硫酸亞鉛 稀硫酸ト亞鉛

(三) とんぼハ如何ナル食物ヲトルカ又何故ニ水浴ヲナスカ

〔解〕とんぼハ浮塵子、蠅、蚊等ノ如キ昆虫類ヲ食フ益虫ニシテ水浴スルハ水中ニ産卵スルガ爲ニシテ其幼虫ヲ「タイマムシ」ト云ヒ長キ鋏狀ノ下唇ヲ以テ昆虫ヲ捕フ

(四) 禾本科羊齒類ノ例各五ツ宛擧ゲヨ

〔解〕

A 禾本科
(一) 大麥
(二) 小麥
(三) 稻
(四) 竹
(五) 稞麥

B 羊齒類
(一) ワラビ
(二) ゼンマイ
(三) ウラジロ
(四) ミノブ
(五) ムカデグサ

地理科

(一) 地球ノ圓キコトハ如何ニシテ知ルカ

〔解〕世界ハ其表面平ナルガ如クナレドモ實ハ橙ノ實ノ如キ形ヲナシタルモノナリ故ニ是ヲ地球ト云フ試ミニ神戸ヨリ出デテ西ヘ西ヘト進マバ再ビ元ノ神戸ニ歸ルヲ得ベシ又海邊ニ立チテ遠ザカリ行ク船ヲ見ルニ船ノ進ムニ從ヒテ次第ニ其下部ヨリカクレ遂ニハ檣ヲモ見ルヲ得ザルニ至ル此場合高臺ニ上リテ望メバ前ノ折ヨリモ能ク見レ共次第ニ見得ザルニイタルベシ是丸キ所謂ナリ地球儀ハ地球ノ形ニ似セテ造リタルモノナリ

口解 答之部

(二) 下關ヨリ京都ヲ經テ青森ニ至ル鐵道線路名及其線路ニ沿エル地方廳所在地ヲ擧ゲヨ
但シ府縣名ヲ併記セヨ

〔解〕

下關ヨリ大阪間……山陽本線
大阪ヨリ京都ヲ經テ新橋間……東海道本線
新橋ヨリ岩沼ヲ經テ青森間……東北本線
下關市ヨリ青森ニ順次ニ記セバ次ノ如シ

廣島市……廣島縣
岡山市……岡山縣
神戸市……兵庫縣
大阪市……大阪府
京都市……京都府
大津市……滋賀縣
岐阜市……岐阜縣
名古屋市……愛知縣
靜岡市……靜岡縣
東京市……東京府
宇都宮市……栃木縣
福島市……福島縣
仙臺市……宮城縣
盛岡市……岩手縣
青森市……青森縣

(三) 左ノ地名ノ位置及其名高キ理由ヲ記セ
寬城子、元山津、淡水、忠海、男鹿半島、豐原、三池

〔解〕

寬城子　日露戰爭ノ際我軍ノ占領セシ終點ニシテ平和後露西亞ヨリ我國ニ讓レル南滿洲鐵道ノ終點ニシテ露領ノ東淸鐵道トノ接續地ナリ

元山津　朝鮮ノ東海岸ナル永興灣內ニアリ仁川釜山ト共ニ朝鮮ノ三大港ト稱セラル

口解　答之部

釜山ヨリ浦鹽斯德ヘノ航海ノ中點ニ當ル、人口四萬餘、砂金、明太魚等ヲ集散ス

淡水　臺灣ノ北部淡水河口ニアル開港場ニシテ臺北トノ間ニハ鐵道通ジ又水運ノ便

備ハリ貿易盛ナリ、

忠海　廣島縣ノ瀨戸內海ノ三原ノ西方ニアリテ要塞ノ設アリ

男鹿半島　秋田縣日本海面ニアリテ八郎潟ヲ抱キ寒風アリ其沿岸ハ勝地ニ富ム

豐原　樺太廳所在地ニシテ內淵川ノ上流ニ沿ヒ大泊內淵間ノ中央ニアリ、附近ハ農

業稍々開ク大泊豐原間ハ已ニ鐵道通ジ豐原內淵間ハ目下敷設中ナリ

三池　福岡縣ノ南境ニアリ有名ナル炭坑ニシテ近年大牟田ニ築港シテ開港場トナシ

輸出ヲ便ニシ市況日ニ振フ

歷史科

(一)　莊園ノ起源ヲ述ベヨ

〔解〕

大化ノ改新ニ全國ノ土地ハ悉ク官有トナリシガ其後年ヲ經テ權門、勢家漸ク土地ヲ私有トス之ヲ莊園ト云ヒ國司ノ支配ヲ受ケズ、課役ヲ納メザルモノナリ

(二)　保元ノ亂ノ原因ヲ問フ

〔解〕

保元元年(一一五六)鳥羽法皇崩御アリ、崇德上皇裏ヲ聞キテ鳥羽殿ニ赴キ給フニ入ルコトヲ得ズ、上皇益々憤リ賴長ト議シテ兵ヲ白河殿ニ集メ給フ、源爲義其子爲朝等コレニ應ズ、美福門院モ藤原ノ忠通ト謀リテ兵ヲ召ス、源義朝、平清盛等至ル、義朝、清盛等夜、白河殿ヲ襲ヒテ火ヲ放ツ爲義、爲朝等ヨリ拒ギシガ遂ニ支フルコト能ハズ賴長ハ流矢ニ中リテ薨ジ、上皇ハ讃岐ニ遷サレ給ヒ、爲義等ハ降參シテ斬ニ處セラル、爲朝ハ伊豆ノ大島ニ電サレシガ後逃レテ琉球ニ入リヌト云フ之ヲ保元ノ亂ト稱ス

(三)　北條早雲ノ事蹟ヲ述ベヨ

〔解〕

應仁ノ亂後諸將各領國ニ就キテ割據ノ勢ヲナシ、幕府ハアレドモナキガ如ク、諸將多クハ其ノ領地ニ歸リテ強弱ヲ爭ヒ部將ノ力アルモノハ主家ヲ倒シ其地ヲ奪ヒ爭鬪

口解　答之部

口解答之部

止ム時ナク海内紛亂ヲ極ム

明治四十四年九月二十日印刷
明治四十四年九月廿五日發行

（不）（許）
（複）（製）

編輯者　堀德次郎　鹿兒島市東千石町十八番地
發行者　久永金藏
印刷者　山本完藏　大阪市東區淡路町三丁目二一六
印刷所　川原米三郎　大阪市西區靱南通二丁目二十八番地

發賣所　鹿兒島市東千石町　久永金光堂

268
319

大賣捌所

鹿兒島市永田町　池田開文堂
同平之町　若松書店
同平之町　德田書店
同山口町　伊東文光堂
姶良郡加治木西町大山書店
同蒲生町　大脇吉太郎
同福山町　厚地藏助
同國分小村　中馬靜八
同敷根町　赤塚仁之助
同重富村　原口猪熊
蠣吟郡志布志町　西川藏吉
同志布志町　岡元書店
同末吉村　橋口佐兵衛
同財部村　伊集院榮吉
肝付郡串良町　前田十次郎
同內之浦村　田中榮
同佐多伊座敷　江口敬次郎
同姶良町　市坪直太郎
川邊郡川邊町　岡野藤太郎
同川邊町　有園長次郎
町加世田麓　黑江豐熊
同鹿籠　久木田愛次郎
日置郡伊集院町　安樂仙藏
同東市來湯田　外園與左衛門
同伊作町　皮籠石文堂
鹿兒島郡谷山町　濱崎キヨ
同谷山村和田　福永畝助
指宿郡山川港　藤崎常次郎
同指宿村湊　小牟禮善次郎
薩摩郡宮之城町　鬼塚國市
熊毛郡屋久島宮之浦　河野德之助
大島郡喜界島　生元俊
宮崎縣都城上町　野口榮二
同飯野町　古河利八郎
同宮崎町　松井修進堂
沖繩縣那覇區　小澤博愛堂